

平成29年度墨田区予算案

～新たなステージを切り拓く～



つながる
墨田区

目次

- ・ 予算概要 (抜粋)
- ・ 平成29年度当初予算案と平成28年度当初予算の比較
- ・ 文化芸術と人がつながる
- ・ 区制70周年記念事業
- ・ 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業
- ・ 「暮」子育て支援を充実させ、笑顔があふれるまちをつくる
- ・ 「暮」地域力日本一の住んでいて良かったまちをつくる
- ・ 「働」活躍したい人が輝くチャンスをつかめるまちをつくる
- ・ 「訪」さまざまな交流が生まれる憧れのまちをつくる
- ・ その他主要事業

平成29年度

予算概要

墨田区

1 平成29年度予算編成の 基本的考え方

予算の位置付け

**“すみだの夢”実現に向けた
着実な事業推進により、
新たなステージを切り拓く予算**



編成に当たっての考え方

- 1 新基本計画策定後に編成するはじめての予算として、「すみだの夢」の目標達成に向けた“夢”実現プロジェクトを本格始動し、計画に掲げる各施策の着実な推進を図る。
- 2 時代の変化に果敢に挑戦し、選択と集中による事務事業の見直しや、更なる行財政改革を推進する。

2 平成29年度予算における 重点課題(1)-1

重点課題 (1)ア

「暮らし続けたいまち」の実現に向けて ～子ども・子育て支援の充実～

待機児童の解消に向けた取組と安全で安心な放課後の居場所づくりの推進
子育てを応援する区政として、結婚・妊娠・出産の3つのステージの夢を
育む施策の展開

地域・家庭・学校が連携した、知・徳・体のバランスのとれた「すみだ
らしい教育」の推進

子育てに適した住宅の整備誘導や子どもを安心して遊ばせることができる
公園等の整備など、子育て世帯が地域のなかで安心して住み続けられる
住環境づくり

2 平成29年度予算における 重点課題(1)-2

重点課題 (1)イ

**「暮らし続けたいまち」の実現に向けて
～地域力日本一の、住んでいてよかったまちをつくる～**

多様な主体の連携による地域の災害対応力の向上と、建築物の不燃化・耐震化の促進など、ソフト・ハード両面からの安全安心なまちづくりの推進

さまざまな福祉サービスの提供等、誰もが住みなれた地域でいきがいを持ちながら安心して暮らし続けられる環境づくり

人と人がつながるしくみづくりによる、地域力のさらなる充実支援

2 平成29年度予算における 重点課題(2)

重点課題 (2)

「働き続けたいまち」の実現に向けて

産業をさらに活性化させ、「ものづくりのまち すみだ」を次の世代につないでいく施策の展開
社会経済情勢の変化等を踏まえた、区内中小企業の課題解決を支援する
新たな産業支援体制の構築
地域力を育む、特色ある商業空間づくりによる商業振興の推進
ワーク・ライフ・バランスの普及啓発、女性の活躍推進など、希望に応じて
家庭と仕事、その他さまざまな活動に取り組むことができる環境づくり
働きたい人が就労できる環境づくりと、次代を担う子どもたちが
「働くこと」について考え、本区の産業に興味をもてる取組の推進

2 平成29年度予算における 重点課題(3)

重点課題 (3)

「訪れたいまち」の実現に向けて

誰もが安心してまち歩きを楽しみながら、区内の至るところで「すみだらしさ」にふれることのできるまちづくり

「ものづくり」を観光資源として活用した、このまちでしか味わえない魅力的なものづくり観光の推進

東京2020オリンピック・パラリンピックをすみだのさらなる飛躍に
来街者をおもてなしの心で迎える担い手の育成と、大会に向けた気運の醸成

2 平成29年度予算における 重点課題(4)

重点課題 (4)

シティプロモーション戦略の推進

すみだで暮らし、活動する人々の愛着と誇りを育む「シビック・プライド」と、
区職員が区民と一緒により良いまちづくりをめざす「スタッフ・プライド」
の醸成

すみだの魅力を国内外に広め、区外の人々のすみだに対する共感を生み、
憧れを高める取組の展開

すみだに関わるすべての人が、当事者としてまちを発展させていく活動に
携わるしくみづくり

愛着と誇り、憧れなどを原動力にしたシティプロモーションの展開

2 平成29年度予算における 重点課題(5)

重点課題 (5)

時代の変化を見据えた新たな取組

待機児童の解消と在宅子育て支援の充実

子どもの未来応援（子どもの貧困対策）

区民の健康寿命延伸に向けた取組、医療・介護連携の推進

防災対策のさらなる拡充

東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業の推進

区制施行70周年記念事業の展開

2 平成29年度予算における 重点課題(6)

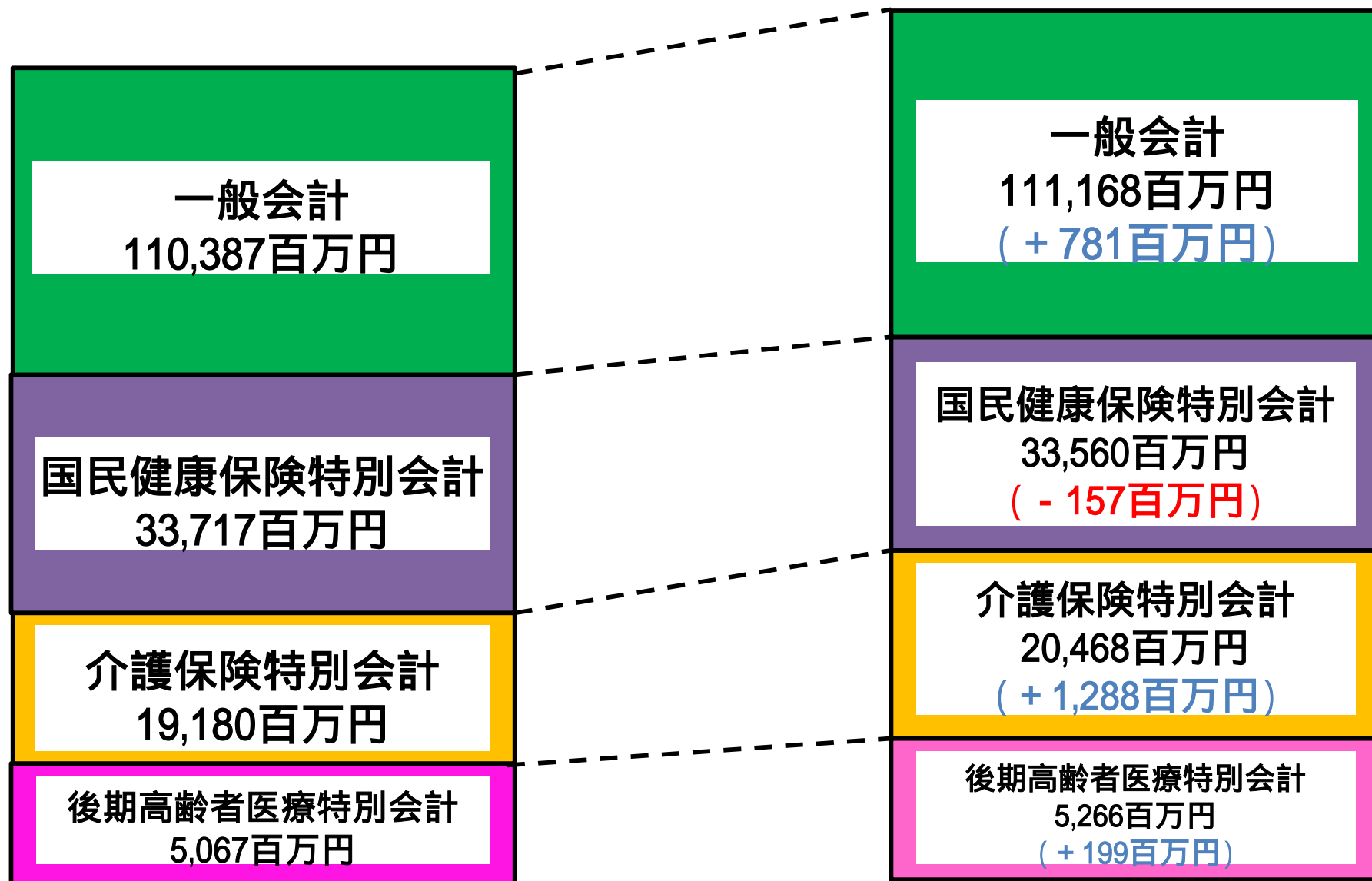
重点課題(6)

行財政改革の推進

「選択と集中」、「民間感覚」、「スピード感・コスト意識」を重視した行政運営
持続可能な行政サービス基盤の確立と簡素で効率的な行政システムの構築
事務事業の見直し、公共施設の再編、効率的な管理運営等による、強固な
財政基盤の構築

「便利さの向上を常に考える電子自治体」へ向けた情報化の取組の推進

平成29年度当初予算案と平成28年度当初予算の比較



平成28年度当初予算
168,351百万円

平成29年度当初予算案
170,462百万円 (+2,111百万円)

平成29年度一般会計歳入歳出予算(案)

(歳入)

(単位：千円)

科 目	平成29年度		平成28年度		比較増減	
	予算額	構成比(%)	予算額	構成比(%)	増減額	増減率(%)
1 特別区税	23,465,000	21.1	22,923,000	20.8	542,000	2.4
2 地方譲与税	366,000	0.3	331,000	0.3	35,000	10.6
3 利子割交付金	57,000	0.1	172,000	0.2	115,000	66.9
4 配当割交付金	380,000	0.4	836,000	0.8	456,000	54.5
5 株式等譲渡所得割交付金	255,000	0.2	484,000	0.4	229,000	47.3
6 地方消費税交付金	5,897,000	5.3	6,061,000	5.5	164,000	2.7
7 自動車取得税交付金	149,000	0.1	146,000	0.1	3,000	2.1
8 地方特例交付金	174,000	0.2	146,000	0.1	28,000	19.2
9 特別区交付金	38,060,546	34.2	38,753,000	35.1	692,454	1.8
10 交通安全対策特別交付金	25,000	0.0	35,000	0.0	10,000	28.6
11 分担金及び負担金	2,167,310	1.9	2,524,827	2.3	357,517	14.2
12 使用料及び手数料	2,171,383	2.0	2,159,517	2.0	11,866	0.5
13 国庫支出金	21,879,046	19.7	20,797,783	18.8	1,081,263	5.2
14 都支出金	8,119,792	7.3	7,438,007	6.7	681,785	9.2
15 財産収入	91,610	0.1	88,070	0.1	3,540	4.0
16 寄付金	271,390	0.2	225,300	0.2	46,090	20.5
17 繰越金	1,500,000	1.4	1,500,000	1.4	0	0.0
18 諸収入	1,501,576	1.4	1,401,148	1.3	100,428	7.2
19 繰入金	2,816,347	2.5	1,019,348	0.9	1,796,999	176.3
20 特別区債	1,821,000	1.6	3,346,000	3.0	1,525,000	45.6
合 計	111,168,000	100.0	110,387,000	100.0	781,000	0.7

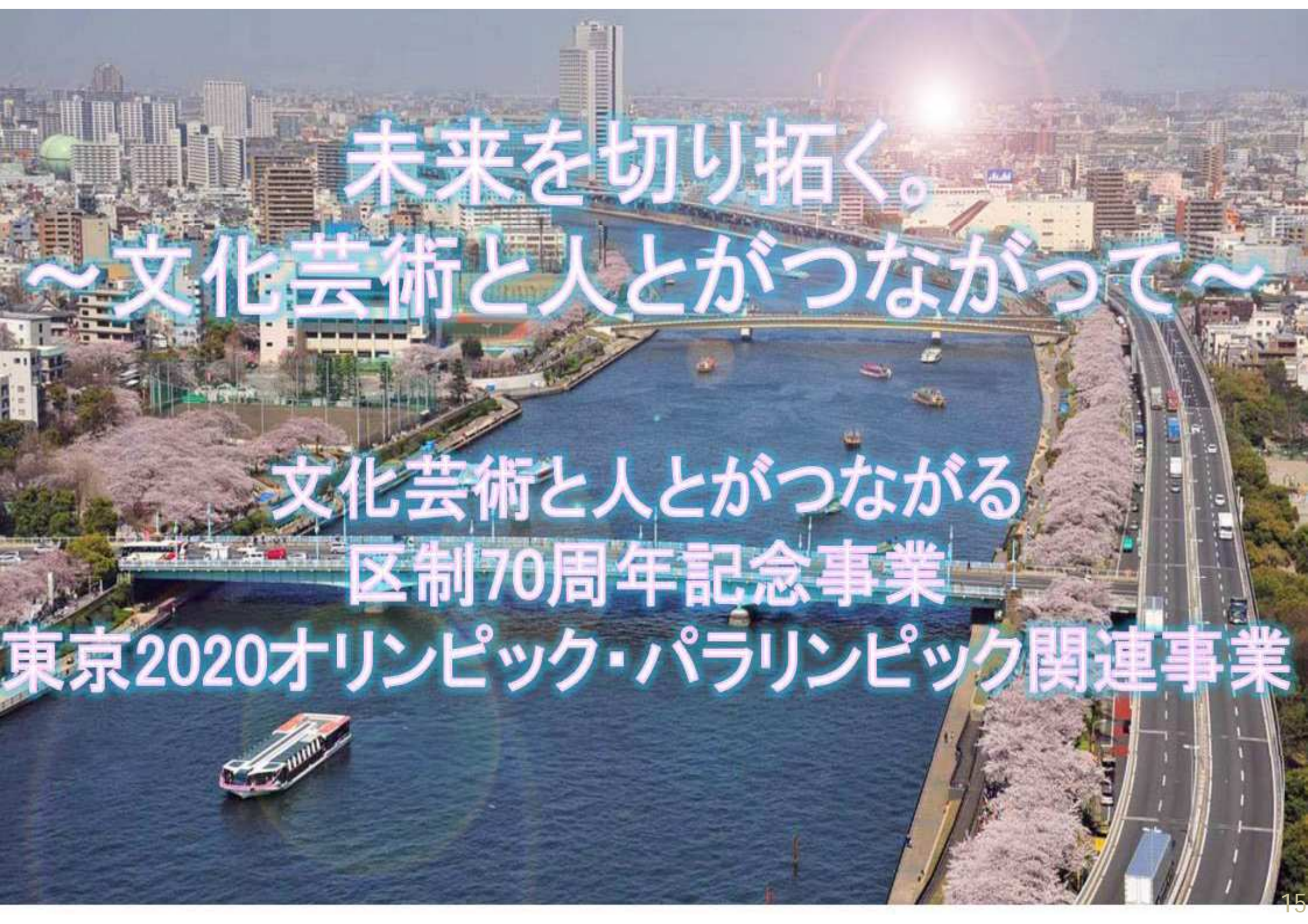
(計数未整理につき変動ある見込み)13

(歳出)

(単位：千円)

科 目	平成 29 年度		平成 28 年度		比較増 減	
	予 算 額	構成比 (%)	予 算 額	構成比 (%)	増 減 額	増 減率 (%)
1 議 会 費	667,005	0.6	666,992	0.6	13	0.1
2 総 務 費	8,748,790	7.9	8,467,563	7.7	281,227	3.3
3 区 民 生 活 費	6,198,288	5.6	5,326,936	4.8	871,352	16.4
4 資 源 環 境 費	3,921,641	3.5	3,863,765	3.5	57,876	1.5
5 民 生 費	64,078,831	57.6	60,808,344	55.1	3,270,487	5.4
6 衛 生 費	3,877,319	3.5	3,774,941	3.4	102,378	2.7
7 産 業 観 光 費	1,694,160	1.5	1,904,351	1.7	210,191	11.0
8 土 木 費	9,109,305	8.2	8,987,341	8.1	121,964	1.4
9 教 育 費	9,707,200	8.7	12,567,936	11.4	2,860,736	22.8
10 諸 支 出 金	3,065,461	2.8	3,918,831	3.6	853,370	21.8
11 予 備 費	100,000	0.1	100,000	0.1	0	0.0
合 計	111,168,000	100.0	110,387,000	100.0	781,000	0.7

(計数未整理につき変動ある見込み)



未来を切り拓く。

～文化芸術と人がつながって～

文化芸術と人がつながる
区制70周年記念事業

東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業

文化芸術と人がつながる

ファンドレイジングを活用した地域力支援！
すみだの“夢” 応援します！！

予算額 (新規)
 106,246千円

問合せ
 区民活動推進課長
 郡司 剛英

内線5401

1 背景

- 《東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたプロジェクト》
- ・様々な課題に対応する「協働」パートナーづくりが急務
- ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催
- ・北斎並びに北斎美術館を核とした文化プログラムの発展



新たな文化芸術活動・地域力向上事業を展開

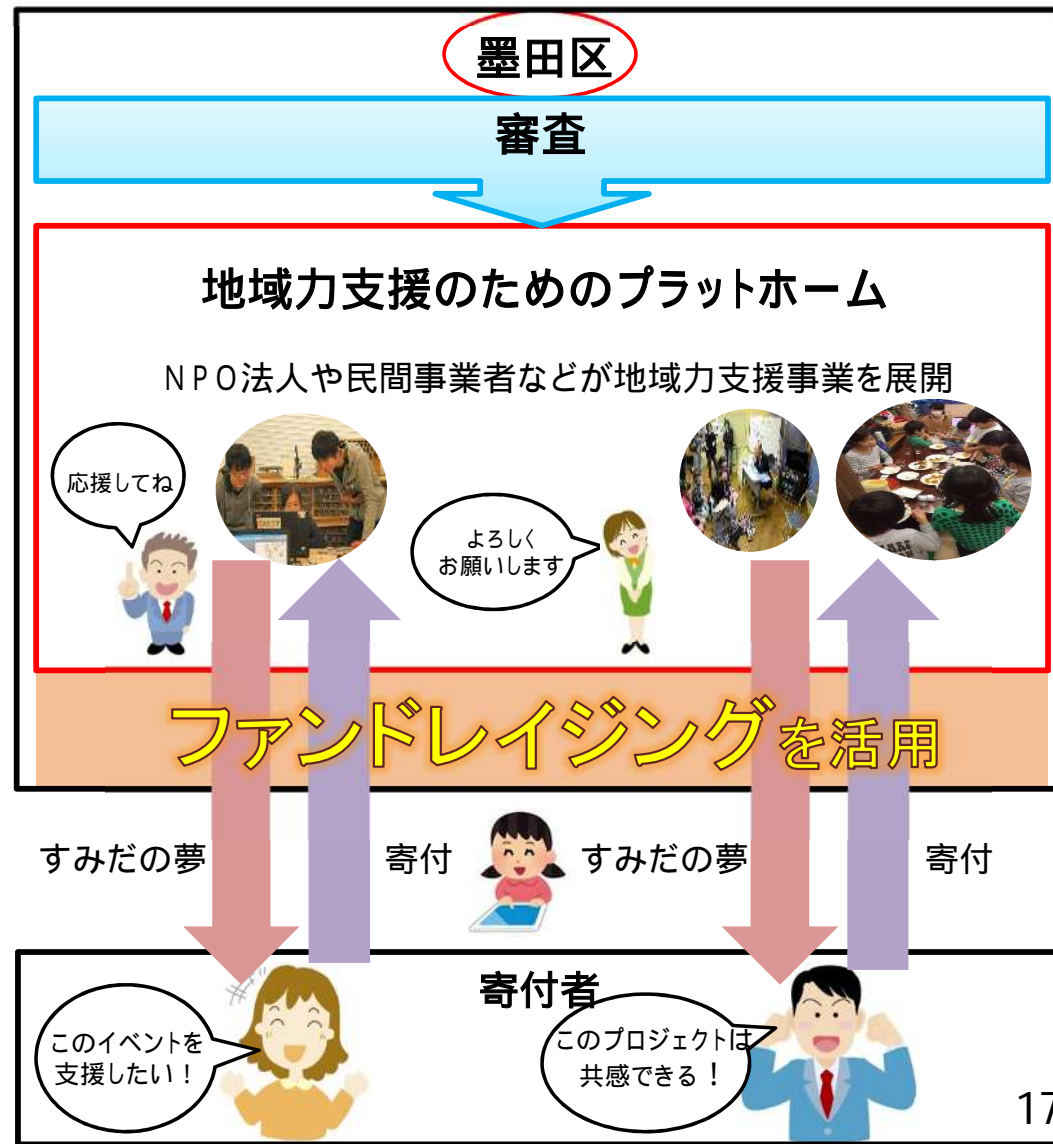
2 目的

地域活性化プロジェクトを行うNPOや企業に対して、ふるさと納税を活用したファンドレイジング(資金調達)の機会を提供する。

3 内容

- 23区初!**
- (1) **すみだの“夢” 応援助成事業** (50,000千円) (新規)
 本区をフィールドとして実施する文化芸術活動や地域力の向上に効果がある意欲的なプロジェクトを募集し、採択されたものには、ふるさと納税によるクラウドファンディングの機会を提供する。
 - (2) 協治(ガバナンス)まちづくり推進基金への積立金 (50,080千円)
 - (3) その他サイト運営等 (6,166千円)

すみだの“夢” 応援助成事業のイメージ



区制70周年記念事業

70年の歴史を紡ぎ、現在を大切に、新たな未来へと進む

区制70周年記念事業

予算額(新規)
4,745千円
(区制70周年記念映像制作 & PR動画コンテスト)
700千円(10年後の未来図事業)

問合せ
広報広聴担当課長
前田 恵子 内線3611
文化振興課長
南部 友孝 内線5451

1 目的

区制70周年を迎えるに当たり、区民が過去の歴史を思い返し、現代を捉え、希望ある未来へと歩みを進めていくことによって、区の一層の発展を目指す。

また、未来を担う子供たちが幼少期からシビックプライドを養い、さらには多くの主体の視点による区の魅力を発掘し、それを広く発信することで、協働型のシティプロモーションをアピールする。

2 内容

(1) 区制70周年記念映像制作 & PR動画コンテスト(4,745千円)(新規)

ア 区制70周年記念映像制作

これまでの区の沿革、現代の姿、そして未来に描く将来像を表現した動画を制作し、70周年記念式典のほか、シティプロモーション特設サイトや各種SNS等の情報媒体で放映する。

イ PR動画コンテスト

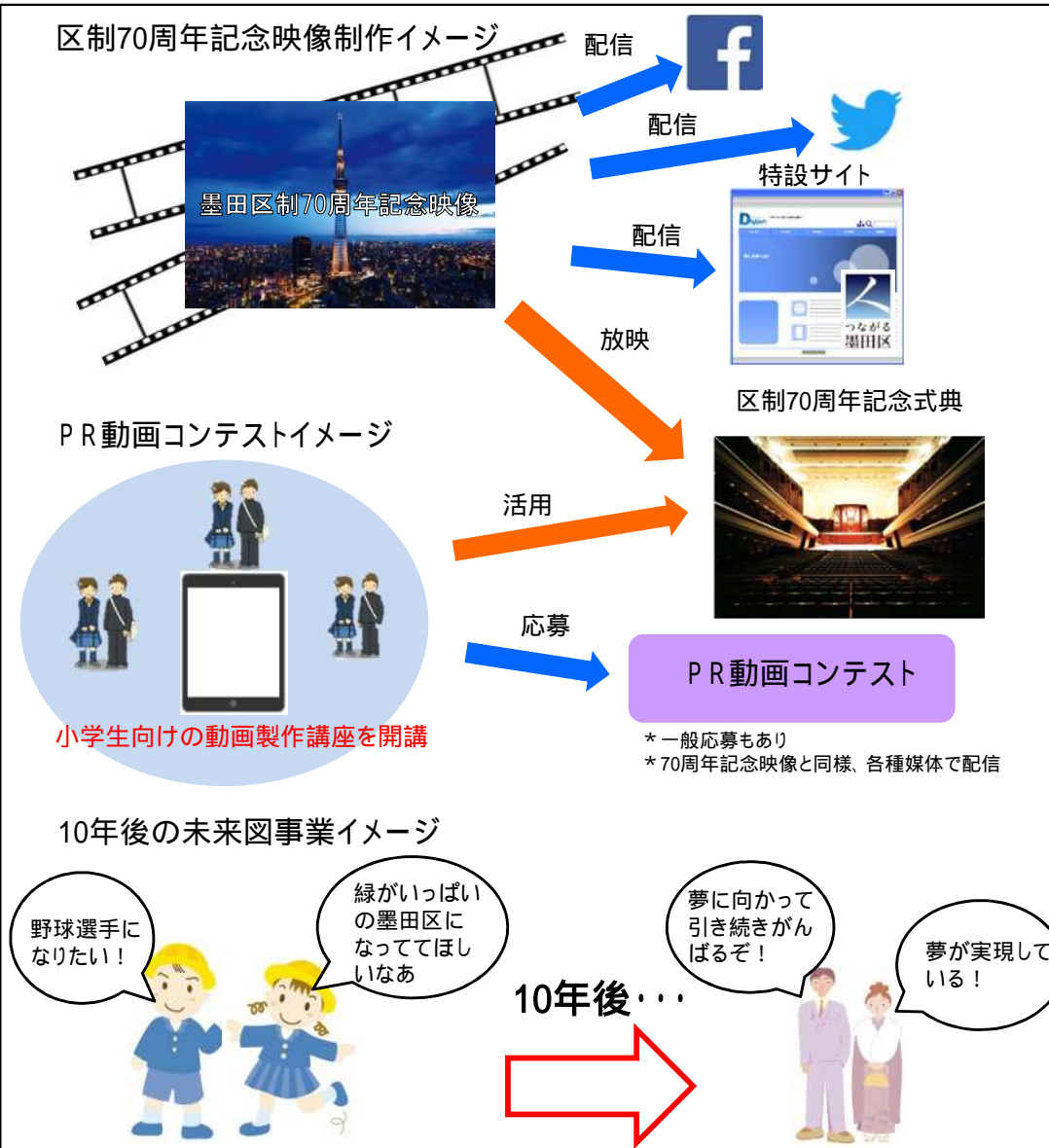
区民に限らず参加できるPR動画コンテストを実施する。

年代別にエントリー枠を設け、小学生部門については、別途、PR動画制作を親子でも楽しめる講座を開講し、参加者を「ちびっこシティプロモーター」とすることで、未来のシビックプライドの育成の一助とする。

(2) 10年後の未来図事業(700千円)(新規)

平成29年度の小学4年生を対象に、10年後の自分の夢や墨田区の将来、日本の未来について描いてもらう。

10年前の自分の夢を実現している人や10年前に描いた墨田区の未来が現実化されていた場合は、20歳の「成人を祝うつどい」で表彰する。



東京2020オリンピック・パラリンピック 関連事業

みんなで東京2020大会を盛り上げよう！

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて

予算額(新規)
6,000千円

問合せ
総務部副参事
吉田 章

内線3810

1 バスツアーの開催(1,000千円)(新規)

(1)目的

東京2020オリンピック・パラリンピックの競技開催予定地をバスで巡り、各競技への関心を持ってもらうとともに、気運の醸成を図る。

(2)内容

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックの競技場の案内
- ・開催競技と場所について関連する情報説明

2 心のバリアフリー育み事業(5,000千円)(新規)

(1)目的

多種多様な観光客が多数訪れる東京2020大会に向け、区民の障害者への理解促進を図り、相手を思いやる心を育み、共生社会の実現を目指す。

(2)主な事業内容

- ・パラリンピアンによるトークショー
- ・参加型イベント展開(障害者スポーツ等の体験)

フラッグツアー

4月15日～21日

4月15日:アンバサダーとともにセレモニー開催予定

バスツアー
～東京2020オリンピック・パラリンピック競技開催予定地を巡る～イメージ



心のバリアフリー育み事業イメージ



パラリンピアントークショー



パラスポーツ体験



心のバリアフリーへの理解



パラスポーツ以外の体験



スタンプラリー

An aerial photograph of Tokyo, Japan, featuring the Tokyo Skytree tower on the left. A vibrant rainbow arches across the sky above the tower. On the right side of the image, a large, cascading stack of Polaroid-style photographs is shown, each depicting various scenes of people and community activities. The overall scene is set against a backdrop of a cityscape under a blue sky with light clouds.

墨田区基本計画の着実な推進

“暮らし続けたいまち”の実現

“働き続けたいまち”の実現

“訪れたいまち”の実現

“暮らし続けたいまち”の実現

～子育て支援を充実させ、笑顔があふれるまち～

お父さん・お母さんが安心して働けるように！

待機児童の解消

予算額(新規・拡充)
1,193,599千円
(私立保育園等整備助成)
515,460千円(保育士等の確保)
6,000千円
(日進公園の整備プラン作成)

問合せ
子育て支援課長 浮田康宏 内線3441
副参事(待機児童対策担当)
高橋 義之 内線3440
子ども課長 杉崎 和洋 内線3451
道路公園課長 天海 晴彦 内線5051

1 目的

「墨田区待機児童解消計画(平成28・29年度)」に基づき保育所の整備・保育定員の拡充を図ることにより、早期の待機児童解消を目指す。

2 内容

(1)私立保育園等整備助成(1,193,599千円)(拡充)

認可保育所設置・運営事業者を公募・選定し、施設整備費等を補助することにより、円滑な開設・運営ができるよう支援する。

(2)保育士等の確保(515,460千円)(拡充)

保育士等が安心して働くことができる環境を整備する保育施設の設置者に対し、必要な費用の一部を補助する。

・宿舎借上げ支援の拡充(355,593千円)(拡充)

対象者に、保育士のほか看護師等を加える。

1施設あたり戸数制限及び借上げ期間の撤廃

・保育士等手当加算の拡充(42,833千円)(拡充)

保育士等手当の経費の増額

53,880円/年 60,000円/年

・その他事業(117,034千円)

再就職前研修支援等他4事業

保育定員を800人拡大！
平成28年度300人 ⇨ 待機児童「ゼロ」！
平成29年度500人 ⇨ 平成30年4月1日

(3)日進公園の整備プラン作成(6,000千円)(新規)

日進公園に隣接する旧家庭センター(閉館中)跡地に民設民営の認可保育所が整備され、平成32年度にオープンすることから、隣接する日進公園のリニューアルを行う。

・幅広い世代が憩える公園整備

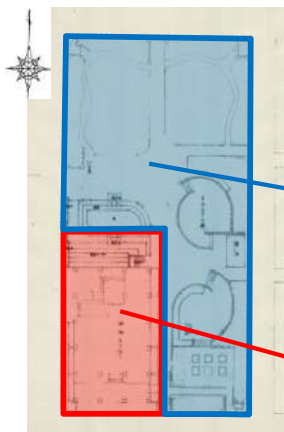
・地域ニーズを反映した公園整備

「私立保育園等整備助成事業」を活用した保育所(新設)



平成28年11月に新規開設したチェリッシュ
あおぞら保育園(認可保育所)

旧家庭センター跡地への認可保育所整備イメージ



日進公園
平成32年4月リニューアルオープン予定

旧家庭センター(閉館中)跡地
平成32年4月認可保育所オープン予定

安心して子育てできる居場所を作ります！

笑顔あふれる在宅子育て支援事業

予算額(新規)
256,000千円
((仮称)子ども未来館の整備)
5,193千円
(地域プラザを活用した相談事業)

問合せ
子ども課長
杉崎 和洋 内線3451
子育て支援総合センター
館長 村田 里美 5630-6351

1 (仮称)子ども未来館の整備(256,000千円)(新規)

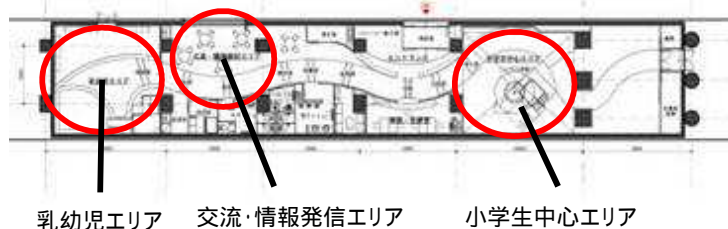
- (1)目的
子どもたちの健やかな成長を支え、次代を担う元気な子どもを育む。
- (2)設置場所・施設面積等(約700㎡)
墨田区京島一丁目43番先(京成押上線高架下)
1階部分 約500㎡、高さ4.5m/一部8.0m(2層吹き抜け)
中層階部分 約200㎡、高さ4.0m
- (3)主な利用対象者
乳幼児から小学生までの児童及びその保護者
- (4)内容
・乳幼児エリア
遊具や玩具を設置して、乳幼児親子が気軽に集い憩える場
・小学生中心エリア
吹き抜けを生かした大型遊具を設置し、親子や友達同士で一緒に遊び、ふれあいながら体力・運動能力の向上を行える場
・交流・情報発信エリア
子育て情報の発信や保護者同士が情報交換できる場
- (5)スケジュール
平成29年度 展示物・内装工事
平成30年度 開設

2 地域プラザを活用した相談事業(5,193千円)(新規)

- (1)内容
本所及び八広地域プラザへ、週2回程度児童館職員(利用者支援専門員)が出向き、子育て相談等を実施する。子育て相談の実施日等に、子育て支援員を保育者として配置し、一時預かり事業も行う。
- (2)対象年齢(一時預かり事業)
生後6か月から就学前までの児童(1日3名)
- (3)利用要件(一時預かり事業)
保護者がリフレッシュ等を行うなど、理由は問わず区民であれば誰でも利用できる。

(仮称)子ども未来館イメージ

1階平面図



シンボル遊具「さくらツリーハウス」

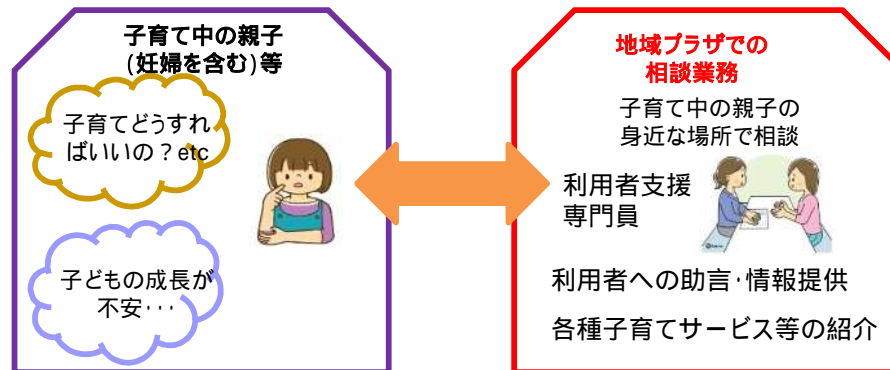


隅田川沿いの桜をイメージした大型複合遊具

遊具内アイテム

構成要素	遊びの種類
チューブスライダー	すべる
ツリーハウス	眺める
こどもエレベーター (はしご・のぼり棒・ロープ等により構成される塔状遊具)	のぼる・つかむ・くぐる・くだる
ネット遊具	はねる・寝転ぶ・つかむ・のぼる・くぐる・おる

在宅子育て相談業務のイメージ



輝かしいすみだの子どもたちの未来に向けて

すみだ子どもの未来応援事業

予算額(新規・拡充)
17,577千円

問合せ
生活福祉課長
倉松 邦多

内線3311

1 目的

すべての子どもたちが、生まれ育った環境に左右されず、自分の可能性を信じて未来を切り拓いていけるよう、すみだの子どもたちを応援する。

2 内容

(1) 子どもの貧困対策実施計画の策定(3,800千円)(新規)

昨年8月に、墨田区を含む4区市を対象に行われた『東京都子供の生活実態調査』データを活用した詳細分析を行い、区が実施する子どもの施策展開の計画づくり。

(2) 学習支援事業の拡充(13,777千円)(拡充)

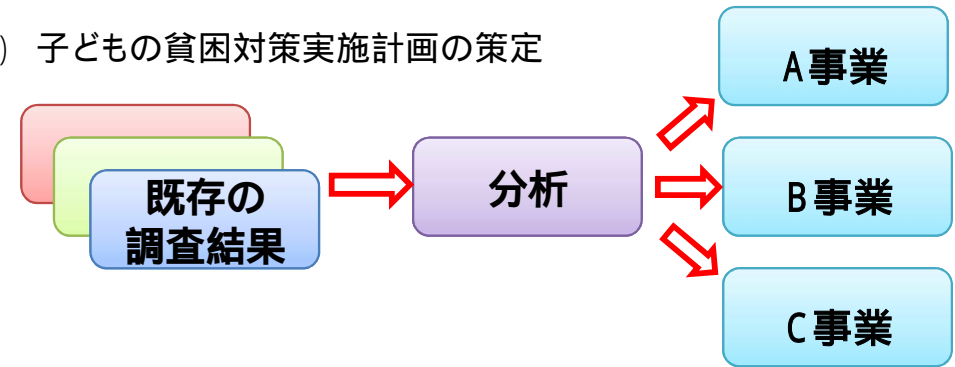
生活困窮者自立支援法における任意事業として行われている無料の学習会について実施回数を年間40回から50回へ増やす。

【対象】生活保護受給世帯を含む

生活困窮世帯の中学生等(定員40名)

事業のイメージ

(1) 子どもの貧困対策実施計画の策定



～ 研究機関による分析を踏まえ、すみだならではの施策を展開～

(2) 学習支援事業の拡充



北部・南部2会場で実施されている学習会の回数

年間40回(月3回程度)

50回(週1回程度)

高1クライシスへの対応として
高校1年生の夏休みまで参加できる仕組みにする。

“暮らし続けたいまち”の実現

～ 地域力日本一の住んでいて良かったまち～

立体化により生み出された高架下空間の有効活用 京成押上線立体化に伴うまちづくり

予算額(新規)
 110,000千円(曳舟桜公園の整備)
 92,000千円
 (ひいらぎ公園・高架下広場2箇所の整備)
 256,000千円((仮称)子ども未来館)
 6,108千円(高齢者支援総合センター)
 253,390千円(障害者生活介護施設)

問合せ
 立体化推進課長 江波戸史恭 内線3991
 道路公園課長 天海晴彦 内線5051
 都市整備課長 齋藤雄吉 内線3911
 子ども課長 杉崎和洋 内線3451
 高齢者福祉課長 福田純子 内線3410
 障害者福祉課長 小坂橋一之 内線3361

- 1 目的
連続立体交差事業により新たに生み出された高架下空間等を活用し、地域のにぎわい・多様なニーズへの対応したまちづくりを推進する。

2 高架下利用計画と主な事業



■ ひいらぎ公園・高架下広場2箇所の整備
 ひいらぎ公園改修・ひいらぎ公園横高架下広場新設工事(72,000千円)
 長浦児童遊園横高架下広場新設工事(20,000千円)を実施



■ (仮称)子ども未来館
 ■ 「福祉総合型」高齢者支援総合センター
 「高齢者等」を多面的に支援する『総合相談窓口』の開設・『活動・交流拠点』の整備
 ■ 障害者生活介護施設
 重度身体障害者(肢体不自由)を対象とした、生活介護・放課後等デイサービス

地域の力で安全安心なまち「すみだ」を実現！

大規模災害への備え

予算額(新規・拡充)
2,200千円
(感震ブレーカーの設置)
2,847千円(帰宅困難者対策)
8,936千円(水害対策)

問合せ
防災課長
菅原 幸弘 内線3551
都市整備課長
齋藤 雄吉 内線3911

1 目的

大規模災害等による、出火や通電時に発生する火災、交通機関停止で発生した帰宅困難者、豪雨・洪水等に備えるための支援を行う。

2 内容

(1) 住民防災組織による感震ブレーカーの設置(新規)
要配慮者サポート隊等の住民防災組織の活動を通し、簡易型感震ブレーカーを交付する。

周知啓発に当たっては、河北新報社・東京新聞主催、墨田区の共催を予定(29年5月)している東日本大震災の語り部による巡回ワークショップ「むすび塾」等の機会も活用

(2) 帰宅困難者対策(拡充)

専門的知識やノウハウを有する外部コンサルタントの支援を導入し、「押上駅前滞留者対策協議会」の活動を強化する。

(3) 水害対策

- ・水害ハザードマップの改定(5,900千円)(新規)
荒川の「最大想定規模の浸水想定」や「浸水継続時間」等を踏まえ、水害ハザードマップを改定する。
- ・土のうステーションの整備(3,036千円)(拡充)
平成29年度は5箇所設置する。(区内合計12箇所)

住民防災組織による感震ブレーカー設置事業のイメージ

対象者は内閣府が公表した「地震時等に著しく危険な密集市街地」の対象地域に居住する高齢者等(希望する世帯)

①区又は住民防災組織に
交付申請



取付け

対象地域居住
高齢者等



申請情報
の共有



区

簡易型感震
ブレーカー交付
住民防災組織
(町会・要配慮者
サポート隊等)

要配慮者サポート隊等
住民防災組織の活動を通し設置

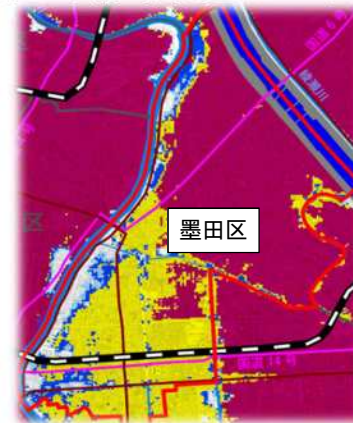
地域の結び付きを強化！

水害ハザードマップ改定の基となる図

【浸水想定区域図】
浸水深を色分けで表示



【浸水継続時間】
浸水の継続時間を色分けで表示



住み慣れたまちと命を守るために踏み出そう！

木造住宅耐震化促進助成事業

予算額 (新規・拡充)
114,410千円

問合せ
防災まちづくり課長
小柳 堅一

内線3971

1 概要

耐震性不足の木造住宅の除去費や家屋が倒壊しても一定の空間を確保することで命を守る耐震シェルターの設置費用の一部を新たに助成する。

また、木造住宅の耐震改修にかかる経費の一部の助成率及び限度額を引き上げる。

2 内容

(1) 耐震化新規助成制度について

除却費助成 (25,000千円) (新規)
対象: 緊急対応地区内の耐震性不足の木造住宅
助成率: 費用の1/2 (限度額50万円) 想定数: 50件

高齢者等の耐震シェルター設置費助成 (1,500千円) (新規)
対象: 耐震性不足の木造住宅に居住する高齢者等
助成率: 費用の9/10 (限度額50万円) 想定数: 3件

(2) 木造住宅耐震化促進の助成内容について。

緊急対応地区の拡大
(北部について、部分的であったものを全域に拡大)

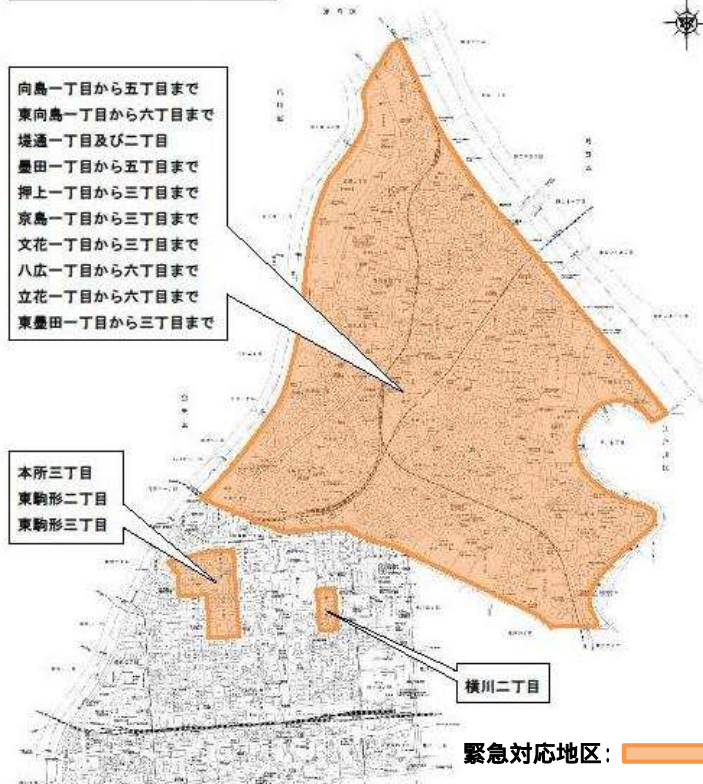
高齢者等が行う耐震診断助成 (2,250千円) (拡充)
[助成率1/2、限度額7.5万円 助成率10/10、限度額15万円] 想定数: 15件

耐震改修工事に係る耐震改修計画作成助成の拡充 (4,500千円) (拡充)
[助成率1/2、限度額5万円 助成率10/10、限度額15万円] 想定数: 30件

耐震改修工事助成 (緊急対応地区内) の拡充 (43,950千円) (拡充)
耐震改修工事助成、主要生活道路沿道の耐震改修工事助成、耐震・バリアフリー改修支援など

その他(37,210千円)
簡易耐震改修工事助成
無料耐震相談等
耐震化普及啓発活動団体補助等

緊急対応地区図



耐震シェルター



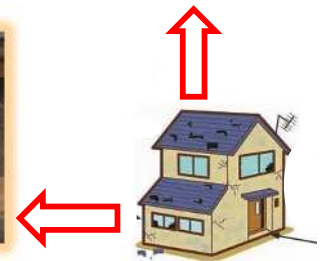
筋かい



無料耐震相談



筋かい金物



耐震改修工事助成

“働き続けたいまち”の実現

～活躍したい人が輝くチャンスをつかめるまち～

区内企業のための身近な「まちの診療所」へ！

(仮称) すみだビジネスサポートセンターの開設

予算額 (新規)
62,739千円

問合せ
すみだ中小企業センター館長 瀬戸 正徳
3617-4351

1 目的

ものづくりを含む幅広い業種の区内企業を対象に、時代や企業ニーズに対応した新たな産業支援体制を構築する。

2 内容

(1) 産業観光部の再編

すみだ中小企業センターの見直しに伴い、ものづくりを含む幅広い業種の区内企業を対象とした新たな産業支援体制とするため、同センターを廃止し、産業観光部を再編する。

(2) (仮称) すみだビジネスサポートセンターの開設

・実践的経験と専門的知識を有する「産業コーディネーター」の配置と民間活力の活用

・ワンストップ相談体制の実現

(墨田区庁舎内に開設)

・相談案件のスピーディな解決、チーム編成によるきめ細かい対応

開設日 平成29年4月1日(土)

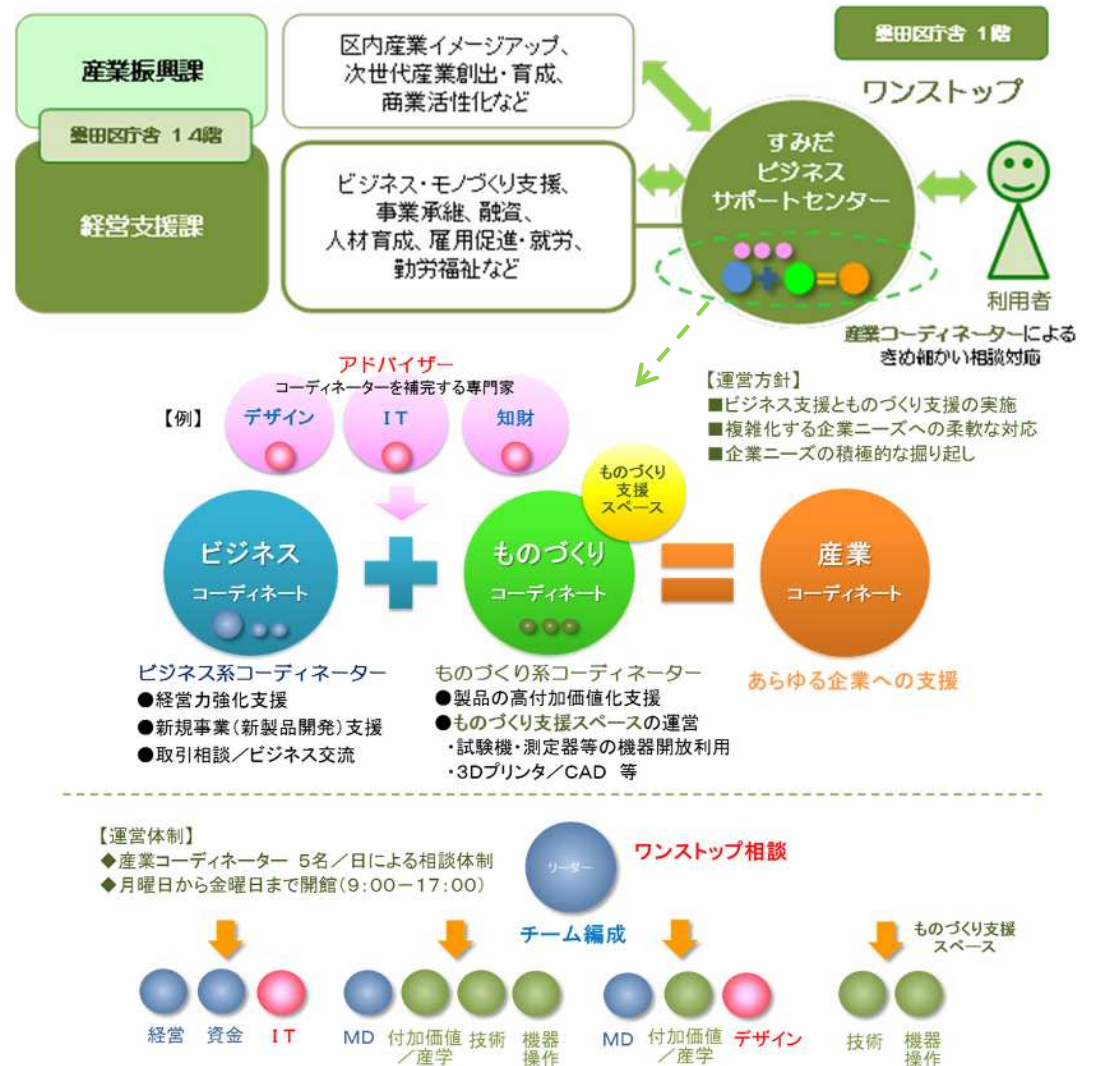
業務開始日は平成29年4月3日(月)

経費

・運営費用(59,000千円(運営委託経費))

・その他(3,739千円(事務経費等))

新たな産業支援体制と(仮称)すみだビジネスサポートセンター



“訪れたいまち”の実現

～さまざまな交流が生まれる憧れのまち～

誰にでもやさしいまち「すみだ」の実現に向けて

すみだの「おもてなしの心」を発信！

1 概要

国内外から多様な旅行者等を迎えるにあたり、誰もが安心して飲食や買物、観光を楽しむことができる環境を整備する。

2 内容

(1) Oishii Sumida Tokyo 推進事業 (2,500千円)

- ・初開催！ Oishii Sumida Tokyo Tour (新規)
外国人旅行者を対象に、外国語メニュー設置店を巡っていただき、すみだならではの魅力ある個店や下町グルメを訴求するツアー
- ・Oishii Sumida Tokyo プロジェクト (拡充)
英語メニューを置いている店にオリジナルステッカーを配布
- ・これで安心！外国人接客講座 (拡充)
飲食店、物販店向けに実践講座を開催

(2) ユニバーサルツーリズムの推進 (3,000千円) (拡充)

2ヶ年計画の2年目として歩行弱者等(肢体不自由者や高齢者、ベビーカー連れの親子など)が安心して楽しく観光できるモデルコースを構築し、ツアーの商品化を図る。

- ・モデルコース構築
- ・モニターツアー実施
- ・旅行代理店パンフレットへの商品掲載など

予算額 (新規・拡充)

2,500千円

(Oishii Sumida Tokyo 推進事業)

3,000千円

(ユニバーサルツーリズムの推進)

問合せ

産業経済課長

中山 賢治 内線5431

観光課長

金子 明 内線5481

Oishii Sumida Tokyo 推進事業イメージ



Oishii Sumida Tokyo
プロジェクト加盟店



外国人接客講座
で勉強したなあ...



THE SERVICE IS
WONDERFUL !!



ステッカー貼付店を巡るツアー

ユニバーサルツーリズムの推進イメージ



誰にでもやさしい観光地をめざす！

その他主要事業

文化芸術と人がつながる

- ・すみだ北斎美術館を活用した文化芸術によるPR事業・・・36
- ・シティプロモーション、加速！・・・37
- ・障害者アート振興事業・・・38
- ・墨田区立学校における北斎授業プロジェクト・・・39

区制70周年記念事業

- ・区制施行70周年記念式典・・・40
- ・すみだ郷土文化資料館
区制70周年記念事業の実施・・・41

東京2020オリンピック・パラリンピック 関連事業

- ・中学生海外派遣事業・・・42
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック関連整備・・・43
- ・両国リバーセンターの整備・・・44

「暮」子育て支援を充実させ、 笑顔があふれるまちをつくる

- ・幼保連携型認定こども園誕生・・・45
- ・すみだ良質な集合住宅認定制度・・・46
- ・すみだのがん教育・・・47
- ・一歩進んだ健康づくり・・・48

「暮」地域力日本一の住んでいて 良かったまちをつくる

- ・東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)立体化事業
および駅周辺整備事業・・・49
- ・食器から食器を！23区初のリサイクル・・・50
- ・未来につなげる燃料電池自動車の導入・・・51
- ・骨髄移植ドナー支援事業・・・52
- ・薬局薬剤師による残薬調整支援事業・・・53
- ・安全安心パトロールの強化・・・54
- ・タブレット端末を利用した窓口職場における翻訳サービス
等の実施・・・55

「働」活躍したい人が輝くチャンスをつかめるまちをつくる

- ・増やします！特色ある商業空間・魅力ある商店・・・56
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進事業・・・57

「訪」さまざまな交流が生まれる 憧れのまちをつくる

- ・水辺のにぎわい創出・・・58
- ・旧安田庭園再整備事業・・・59
- ・(仮称)すみだDMOの推進・・・60

オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの展開！

すみだ北斎美術館を活用した文化芸術によるPR事業

1 目的

東京2020オリンピック・パラリンピックまで継続して文化プログラムによるPRキャンペーンを展開し、地域活性化の一助とする。

また、北斎及びすみだ北斎美術館の魅力を広く発信することで、世界に向けた“訪れたいまちすみだ”を実現する。

2 内容

区内外の様々な企業・団体及び文化芸術の担い手と連携し、すみだ北斎美術館を活用したプロモーションを展開する。

- (1) “北斎”及び“すみだ北斎美術館”を核とした海外へのプロモーション展開(20,000千円) (新規)
- (2) “北斎”を通じた美術館・博物館との連携事業
(581千円) (新規)
- (3) 隅田川 森羅万象 墨に夢(すみゆめ)プロジェクトの継続・拡充実施(15,000千円) (拡充)
- (4) 様々なメディアとのコラボレーションによる広報展開の実施

予算額(新規・拡充)
35,581千円

問合せ
文化振興課長
南部 友孝

内線5451

北斎をテーマとした公演の実施



文化芸術プロジェクトの実施



美術館・博物館ネットワーク事業

各種メディアとのコラボレーション

事業者・団体との連携事業

東京2020オリンピック・パラリンピック

あなたもきっと、誰かと「つながる」
「人と人とのつながり」で、すみだをみんなで盛り上げよう！

シティプロモーション、加速！

予算額 (新規・拡充)
18,823千円

問合せ
広報広聴担当課長
前田 恵子

内線3611

1 目的

地域の魅力を区内外に効果的に発信することで、区民の地域への愛着と誇りを醸成するとともに、区外からの憧れと共感を呼び起こす。これにより、地域活動への参画者や地域の推奨者を増加させ、シティプロモーションを力強く推進する。

2 主な内容

(1) イメージアップ事業 7,700千円(拡充)

- ア すみだ北斎美術館PRの継続実施
- イ 区民情報コーナーのリニューアル

(2) シビックプライド醸成事業 8,603千円

- ア シティプロモーション特設サイトの開設 (新規)
- イ シティプロモーションブックの作成 (新規)
- ウ ノベルティグッズの製作 (拡充)

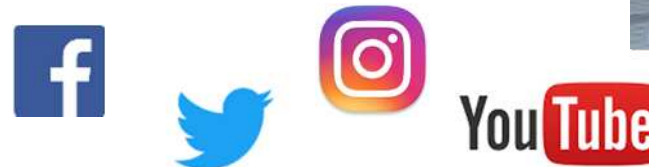
(3) スタッフプライド涵養事業 2,520千円(拡充)

- ア プロモーションサポート業務委託
- イ デザインアドバイザリー業務委託

事業のイメージ

(1) すみだ北斎美術館PRの継続実施

日本初の学芸「人」である、葛飾ふとめ・ぎよるめによる「すみだ北斎美術館PR『輪になって北斎』」。通称、輪旅(わたび)。区HPや各種SNS等でも、美術館の魅力を発信中。



(2) シティプロモーション特設サイトの開設

地域の魅力や地域に息づく「人」に焦点を当てた魅力的なコンテンツを集約した特設サイト。これまでの区HPには無かった、区内の各エリアや多くの動画を紹介するページのほか、区民が身近な情報を投稿できるページ等のコンテンツを盛り込む予定。



北斎「現代はこんなに素晴らしい表現があるんじゃない...」

障害者アート振興事業

1 目的

障害者への理解や啓発、区内の障害者アーティストの発掘や育成を目指して、「葛飾北斎」の芸術性と障害者の独創的な発想・表現がクロスした障害者アート振興事業を推進！

平成28年度は全国障害者アート公募展「みんな北斎」を実施。

平成29年度はワークショップの開催など、障害者が文化芸術活動へ参加したくなるようプロモーションを行う。

2 内容(1,500千円)(新規)

ワークショップの開催

葛飾北斎の様々な画風や視点を取り入れたワークショップで北斎への理解を深め、様々な障害者へ文化芸術活動の参加機会を増やす。

作品展示

ワークショップの参加者を中心に作品を展示。展示によるモチベーションアップと障害者の社会参画や理解・促進を図る。

3 対象

区内在住、在勤、在学の障害者

予算額(新規)
1,500千円

問合せ
障害者福祉課長
小坂橋 一之
内線3361

事業のイメージ・その他



葛飾北斎



ワークショップでは、区内で活躍する
様々な分野のアーティスト等が創作活動をサポート



独創的な発想力・表現力で制作したアート作品の展示

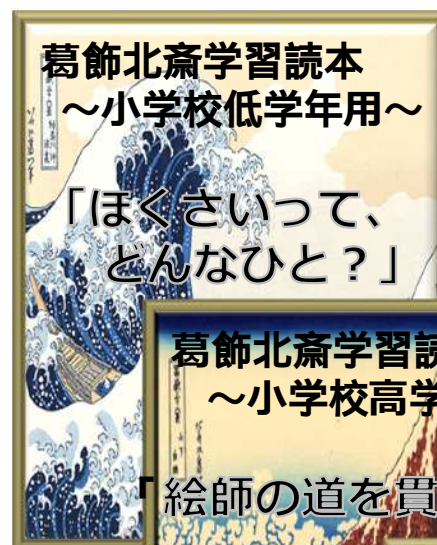
ボクらの先輩、葛飾北斎！

墨田区立学校における北斎授業プロジェクト

予算額(新規)
7,560千円

問合せ
教育委員会事務局
指導室長 月田行俊
内線5140

- 1 目的
平成28年11月に「すみだ北斎美術館」が開館！墨田区で生まれ育った葛飾北斎を更に知るため、授業で活用できる教材を作成する。
- 2 対象 墨田区立小中学校の児童・生徒
- 3 作成物
年齢に応じて、小学校低学年版、小学校高学年版、中学校版の副教材(3分冊)を作成する。
- 4 手段
副教材作成委員会を設置。
メンバーは、社会科や美術科等区内小中学校の校長や教員で構成
- 5 スケジュール
平成29年4月 副教材作成委員会発足
5～12月 原稿作成
平成30年1月 入稿・印刷
2月 完成
3月 各校配布
- 6 経費(7,560千円)(新規)
内訳 @540円 * 14,000冊 = 7,560,000円
墨田区の小学生9,543人、中学生4,011人



先生～！北斎って
どんな人ですかー！？

表紙はイメージ

すみだの古稀をみんなでお祝い

区制施行70周年記念式典

予算額(新規)
13,522千円

問合せ
秘書担当課長
能重 建一
内線3741

1 目的

日ごろ区と関係のある各機関や団体を代表する方々をお招きして、区制施行70周年を祝う。

区政の伸展に御貢献いただいた方々に感謝状を贈呈する。

2 概要(予定)

月日:平成29年9月2日(土)

会場:すみだトリフォニーホール 大ホール

内容:区政の伸展に御貢献いただいた方々への感謝状贈呈
シティプロモーションの映像上映
記念コンサート 等

3 前回の実施内容(平成19年10月20日(土))

第一部 記念コンサート

新日本フィルハーモニー交響楽団

第二部 協治(ガバナンス)のPR・DVDの上映

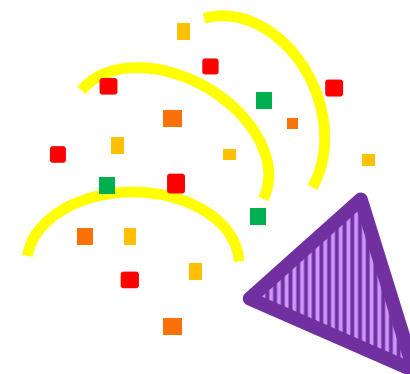
ガバナンスに関する講演

第三部 感謝状贈呈式

町会長・自治会長等 806名・32団体

事業のイメージ

前回の式典の様子



墨田区は焼け跡から始まった

すみだ郷土文化資料館 区制70周年記念事業の実施

予算額(新規・拡充)
7,997千円

問合せ
生涯学習課長
岡本 香織

内線5151

1 目的

墨田区が誕生70周年を迎える節目として、これまでの歴史を振り返り、区の歩みを分かりやすく区民に伝えるため、写真を使った企画展を行う。

2 内容

すみだ郷土文化資料館での企画展(5,906千円)(拡充)

- ・写真により区内の70年の歩みを振り返る企画展を実施
- ・前期(5～7月頃予定)は資料館の所蔵資料を中心に展示
- ・後期(10月～1月頃予定)は区民等に呼びかけ、提供いただいた写真も加え展示

地域巡回展(2,091千円)(新規)

- ・区施設及び地域の集会所等を会場とし、その地域にちなんだ写真を中心に展示
- ・写真と会場の提供については、町会・自治会、学校等から公募



墨田区役所第一庁舎(昭和27年当時)
墨田区誕生前は旧本所区役所庁舎



旧日進小学校屋上からの遠望
(昭和32～33年当時)

地域巡回展スケジュール(案)

公募期間
H29.4～

区内団体(町会・自治会、学校等)へ周知
応募受付後、随時、写真選定、会場、期間
等の実施内容を協議

区民と一緒に協議！！

実施期間
H29.7頃～

区内各施設にて実施
実施期間は、応募状況、資料館での展示
実施時期等を勘案して決定

地域巡回展の展示方法

・写真展示具として、
組立式の三角柱を、
地域巡回展用に作成



すみだ郷土文化資料館
オリジナル

写真、キャプション
(展示説明)が差し
換え可能なポケット
を設ける。

予定サイズ
高さ180cm×横100cm

将来を担う子どもたちの夢や希望を実現！

中学生海外派遣事業

予算額(拡充)
10,450千円

問合せ
教育委員会事務局
指導室長 月田行俊
内線5140

1 目的

中学2年生で海外派遣を実施し、現地の生徒との交流、ホームステイ等を通して、国際社会で活躍することのできる人材を育成する。

2 対象

墨田区立中学校生徒2年生 20名(各校男女1名)

3 派遣先

オーストラリア・シドニー周辺

4 内容

- (1)現地生徒との交流・ホームステイなど(10,073千円)(拡充)
- (2)その他(377千円)

5 応募資格

- (1)墨田区立中学校の第2学年に在籍していること。
- (2)協調性に富み、規律のある行動ができること。
- (3)外国や語学に興味・関心をもち、積極的に自己研修ができること。
- (4)派遣のための事前及び事後研修会等に全て参加できること。
- (5)海外派遣後、英語ボランティア等の活動に積極的に参加できること。
- (6)本人が海外派遣を希望し、保護者も同意していること。

6 スケジュール

- | | |
|------------|-------------|
| 4月中旬～7月下旬 | 事前研修実施 |
| 7月30日～8月8日 | 海外派遣(出発式含む) |
| 8月中旬～8月下旬 | 事後研修実施 |
| 10月29日 | 海外派遣報告会 |

現地での活動イメージ

～シドニー市内視察～

訪問する地域を視察し、事前に調べた日本との文化の違い等を体感。



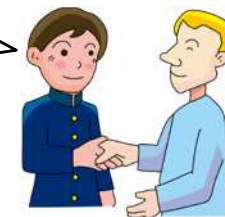
実際見ると文化
が違う！



～現地校との交流～

英語レッスン、現地校授業への参加などを実施する。日本の伝統文化を現地生徒に伝える学習も想定。

NICE TO
MEET YOU !



「T.H.Rネットワーク」で快適通行！すみだの水辺の未来も変わります

東京2020オリンピック・パラリンピック 関連整備

予算額(拡充)
741,196千円(道路等整備)
300,664千円
(北十間川エリア整備)

問合せ
道路公園課長
天海 晴彦 内線5051
都市整備課長
齋藤 雄吉 内線3911

1 目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が両国国技館で開催されることから、周辺道路と東京スカイツリー®やすみだ北斎美術館等を結ぶ動線として区役所通り、北斎通りを快適な通行空間として整備する。

(Tokyoskytree、Hokusai museum、Ryogoku kokugikan)

さらに、2020年までに北十間川エリア(隅田川から東京スカイツリー®まで)を水辺、鉄道高架下、道路、公園が一体となった新たな賑わい空間として創出する。

2 整備内容

(1) 競技会場周辺整備(拡充)

【区役所通り】(延長560m) (277,050千円)

・歩道のバリアフリー化、街路樹の植替え

【北斎通り】(延長970m) (18,105千円)

・自転車レーンの設置

【両国国技館周辺道路】(446,041千円)

・墨6号路線ほか3路線の電線類地中化など

(2) 北十間川エリア整備(拡充)

・船着場実施設計(12,000千円)

・親水テラス修景実施設計(9,400千円)

・隅田公園(一部)再整備実施設計(16,000千円)

・コミュニティ道路整備実施設計(8,800千円)

・小梅橋架替え実施設計、撤去工事等(250,400千円)

・地元勉強会経費等(4,064千円)

3 スケジュール

(1) 競技会場周辺整備

【区役所通り】平成29年度～平成31年度(予定)

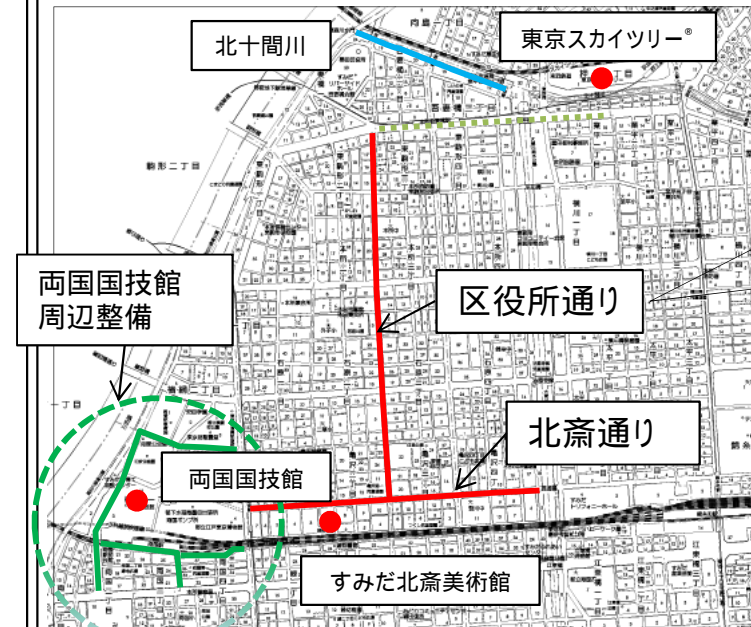
【北斎通り】平成29年度

【両国国技館周辺道路】平成29年度～平成31年度(予定)

(2) 北十間川エリア整備

～平成32年度(予定)

競技会場周辺整備イメージ



区役所通り
整備イメージ

北十間川エリア事業イメージ



北十間川エリア整備イメージ

新たな水辺の魅力をここから発信！

両国リバーセンターの整備

予算額(新規)
5,203千円

問合せ
都市整備課長
齋藤 雄吉

内線3911

1 概要

東京都が進める両国リバーセンタープロジェクトに参加し、両国地区の防災性の向上を図るとともに、水辺の賑わいづくりの核として、魅力的な水辺空間の創出を目指す。

民間プロジェクトを誘導することにより、両国子育てひろば及び水辺ライン両国待合所の機能を含めた、新たな複合拠点施設としての整備を図っていく。

2 対象地

住所 墨田区横網一丁目2番

面積 約1,500m²(区有地1,040m²、所有地470m²)

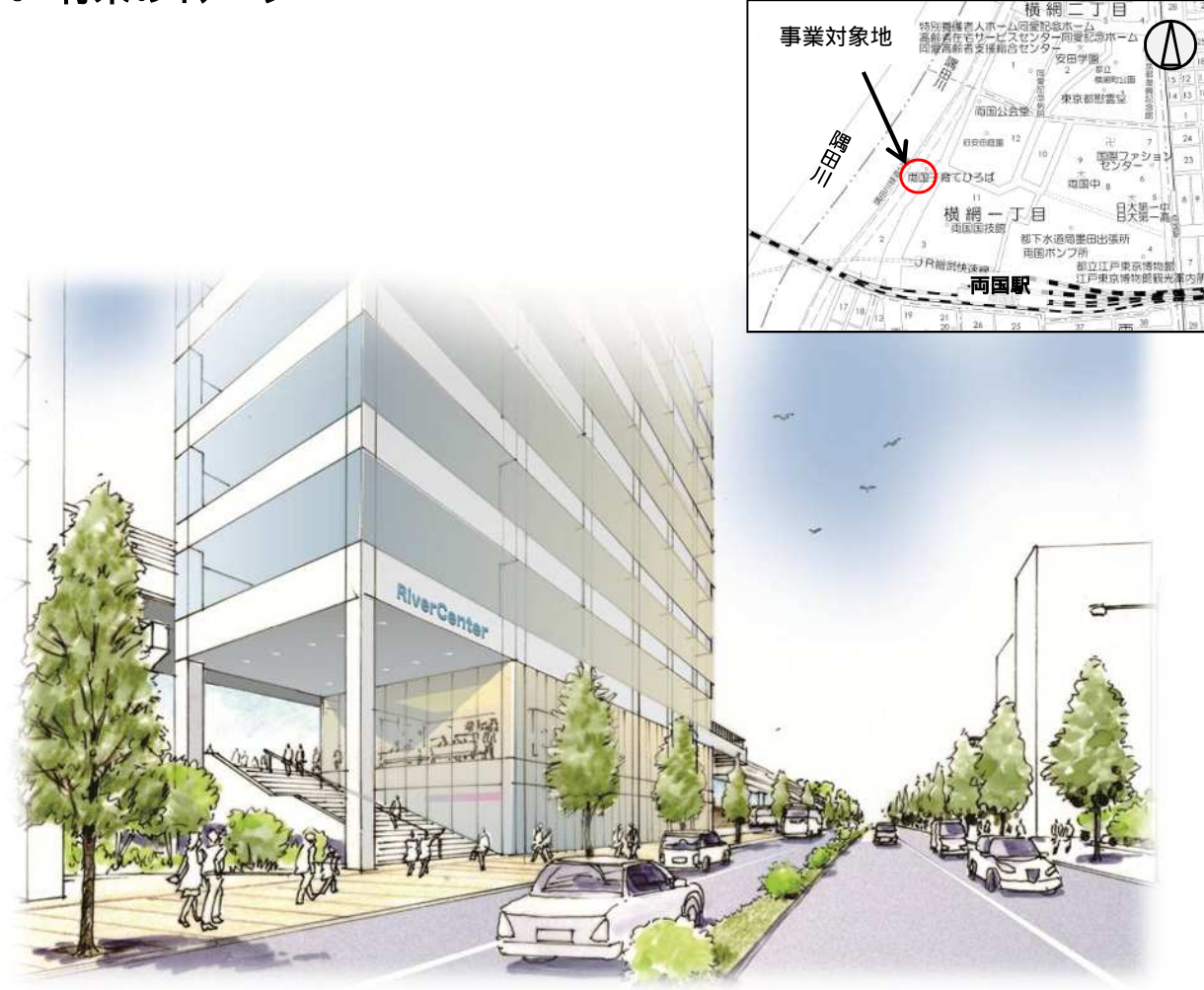
3 スキーム

都区協力し、官民連携により民間事業者の資金及び創意工夫により進める。民間活力の導入にあたり定期借地権方式を採用する。

4 平成29年度の主な取組

事業者選定・監理等経費 [東京都・墨田区]
(5,203千円)

5 将来のイメージ



幼児教育の充実に取り組みます！

幼保連携型認定こども園誕生

予算額(拡充)
20,378千円

問合せ
子ども課長
杉崎 和洋
内線3451

1 目的

3歳児～5歳児の教育を計画的に進め、これまで以上に小学校へスムーズに入学できる「幼保連携認定こども園」を開設する。

2 内容

(1) 移行準備(17,778千円)(拡充)

(2) 「保育教諭」配置のための補助(2,600千円)

保育士資格と幼稚園教諭免許の両方を持つ「保育教諭」を配置するための補助

家庭で子育てしている保護者を対象とした「地域における子育て支援事業」も実施(親子で遊ぶ催し・園の行事への参加・子育て相談など)

3 移行スケジュール

平成29年4月1日

たちばな認定こども園・八広認定こども園開設

平成30年4月1日(予定)

江東橋認定こども園・おむらい認定こども園開設

幼保連携型こども園に移行されると
こんな学びのプログラムが！

静電気で、ものが
くっつくね！

静電気でくっつくのは
何と何かな？
いろいろ試してみよう

くっつくものと、
くっつかないものの
違いは何だろう？



園児の社会性や好奇心が向上！！

小学校でも
がんばるぞ！



家族で暮らす、充実のすみだライフ

すみだ良質な集合住宅認定制度

予算額(拡充)
25,400千円

問合せ
住宅課長
若菜 進

内線3931

1 概要

すみだ良質な集合住宅認定制度

集合住宅の居住に関し、子育てや防災の機能について、ハード・ソフト両面で特に配慮された集合住宅を区が認定する制度。良質な住まいの供給促進・区内マンションの居住水準のさらなる向上を目的としている。

2 内容

(1) (仮称)ファミリータイプ住戸整備補助 (20,000千円) (拡充)

専有面積75㎡以上のファミリータイプ住戸を設ける場合建築主に補助金を交付する(平成29年夏開始予定)

条件

- ア すみだ良質な集合住宅認定「子育て型」の認定要件に該当。
- イ 専有面積75㎡以上のファミリータイプ住戸(戸数に応じて補助金を交付) 1棟あたりの限度額を設ける予定

(2) 新たな認定の型の創設検討調査費等 (5,400千円) (拡充)

現在、子育て・防災機能について認定の対象としている。高齢者や環境に配慮された機能を有するマンションなどの認定基準や補助メニューについて検討する。



(仮称)ファミリータイプ住戸
整備補助



ファミリー世帯

区内で広くて子育てしやすい住宅を見つけやすくなる

建築主

ファミリータイプの整備を検討しやすくなる。子育て型認定を受けやすくなる

墨田区

ファミリー世帯の住宅確保支援につながる。民間活力による子育て支援



良質な住まいの供給促進



新たな認定の「型」の検討



お父さん・お母さん、「検診」受けてね。
家族でがんについて話そう

すみだのがん教育

予算額(新規・拡充)
522千円

問合せ
庶務課長事務取扱
参事 岸川 紀子
内線5102

1 がん教育の目的

「がん死亡率」を下げるため、小・中学生(小6・中3)のうちから「がん」の、正しい知識・予防のための行動ができるよう学ぶ。

2 内容

(1)指導教材等の作成 (201千円)(新規)

区のがん死亡率やがん検診、医療情報といった内容を盛り込み、授業を行う教員とがん体験者が共同で“すみだならではの”の教材を作成する。

(2)がん経験者による授業 (175千円)(拡充)

(3)保護者向けリーフレットの作成 (120千円)(新規)

(4)教員向け研修会 (26千円)(新規)

3 墨田区の「がん教育」について

教育委員会と保健部門が一緒になって進めるのが本区の「がん教育」の特徴であり、この取り組みは23区の中でも珍しい。

<がん教育検討メンバー>

(墨田区がん対策推進会議「がん教育部会」)

学識経験者、がん患者支援団体代表、がん患者、区内医療関係者、教育委員会指導室、区立小学校保健部会、区立中学校保健体育部会、区立中学校保健部会、保健計画課

事業のイメージ

区立小中学校「がん教育」

「がんのことをもっと知ろう」

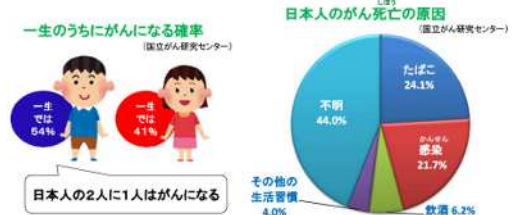
担任や教科担任
と養護教諭のチ
ームティーチングによる授業



がん経験者による体験談を聴き、命の大切さや、身近な人が病気になったときに何ができるか考える

がん教育の解説書等を各校に配布
専門的な分野も、分かりやすく解説できるよう対応

がんとはどんな病気？



がんの原因は不明な点も多く、よい生活習慣を続けていても、がんになることがあります。がんは患者さんのからただけでなく、心にも大きな負担となります。

一歩進んだ健康づくり

予算額(新規)
13,237千円

問合せ
国保年金課長
岩下 弘之

内線3201

1 墨田区の現状

- (1) 区民の平均寿命・健康寿命とも、全国・東京都と比較して低めの傾向にある。
- (2) 国民健康保険の医療費総額は、全国・東京都と比較して高めの傾向にあり、内訳では腎不全の医療費が最も高額である。

2 墨田区の健康課題

- (1) 健康に不安のある区民が多い。特定健診結果数値の複数項目において、全国・東京都平均を下回る傾向にある。
- (2) 循環器系疾患が多いこと並びに腎疾患の重症患者が多い。

3 墨田区国民健康保険における健康課題への対策

- (1) 特定健診結果経年通知〔11,087千円〕(新規)
過去5年間の健診結果を通知し、受診者の健康意識を高める。
- (2) 中等度リスク者対策〔2,151千円〕(新規)
特定健診の糖尿病に係る検査数値が高い区民に対して、医療機関への受診勧奨を行う。
- (3) 重症化予防 既存事業を引き続き重点的に行う
糖尿病の重症化を予防するため、生活指導等の保健指導を行う。

特定健診結果経年通知

5年前
...

現在

前回と比べて
どうかな？

中等度リスク者対策

一度診て
もらおうか！



重症化予防

腎不全になると
生活の質が下がって
しまうし...



前!

踏切除却 + 駅周辺整備 魅力あふれる拠点の形成

東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近) 立体化事業 および 駅周辺整備事業

予算額(拡充)

621,640千円(立体化事業)
37,670千円
(駅周辺整備事業)

問合せ

立体化推進課長
江波戸 史恭 内線3991
拠点整備課長
武井 勝人 内線3981

概要

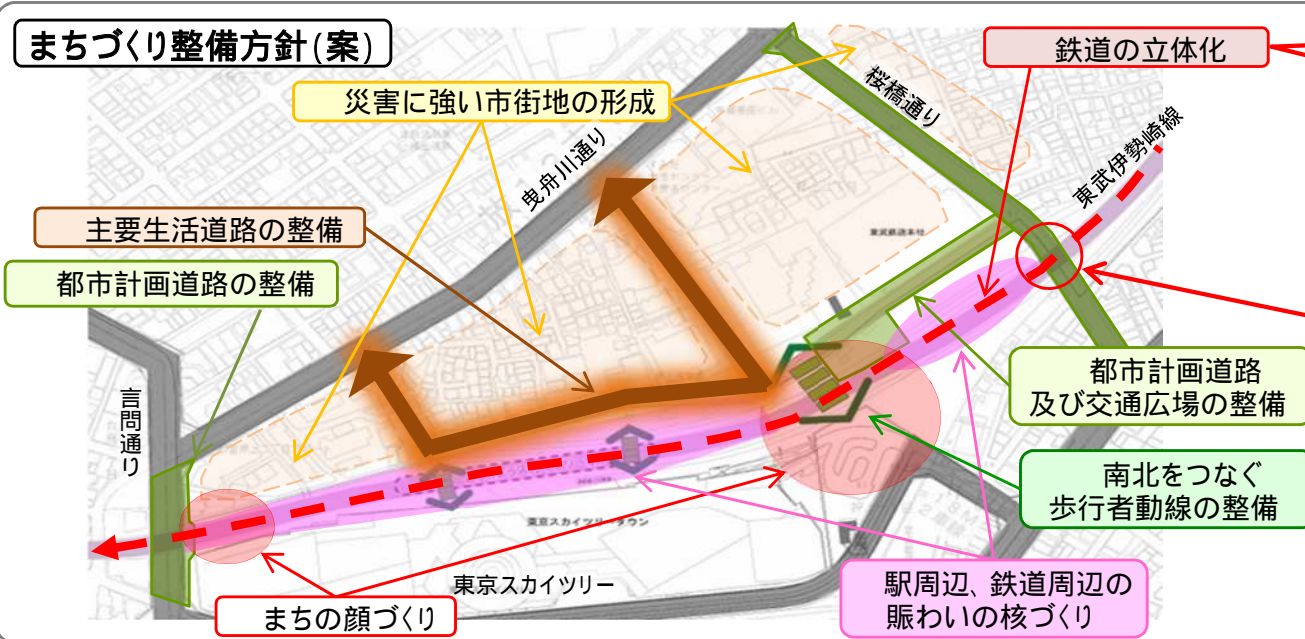
(1)東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)連続立体交差事業 (621,640千円)

- ・伊勢崎線第2号踏切(桜橋通り)を中心に、鉄道を約0.9kmを高架化することで、踏切を除却する。
- ・これにより、道路と鉄道それぞれの安全性向上、交通流動のボトルネック解消、南北市街地の行き来を活発にし、まちの一体化を図る。
- ・平成29年度は鉄道の詳細設計や周辺の交通量調査を実施する。

(2)とうきょうスカイツリー駅周辺整備事業 (37,670千円)

- ・区の中心部にふさわしい広域総合拠点を形成するため、商業・業務・文化・住宅等の複合開発を誘導し、鉄道立体化とともに開発効果をとうきょうスカイツリー駅周辺に波及させる。
- ・平成29年度は鉄道北側まちづくりの検討を進め、勉強会・分科会を開催するとともに、災害時における避難路の確保と消防活動の円滑化や賑わいづくりに資する主要生活道路の都市計画決定を目指す。

まちづくり整備方針(案)



事業名称	東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)連続立体交差事業
事業延長	約0.9km(駅のホームは東側へ約150m移設)
構形式	高架式(仮線方式により施工)



伊勢崎線第2号踏切
(桜橋通り)
(平成26年5月撮影)

今年からそのごみ…資源になります！

食器から食器を！23区初のリサイクル

予算額(新規・拡充)
15,225千円

問合せ
すみだ清掃事務所長
西村 克己
5608-6922

1 目的

区民・事業者から「ごみ」として出されるものの中には、「資源」として再生できるものが多く含まれている。このため、埋立処分場の延命と循環型社会の実現に向け、さらなるごみの減量及びリサイクルの推進に取り組む。

2 内容

(1) 燃やさないごみの資源化处理 (6,735千円) (新規)

23区初 ア 陶磁器リサイクル(食器から食器へ)

イ 水銀リサイクル(蛍光灯・体温計等)

(2) イベント等によるリサイクル回収 (931千円) (拡充)

ア 金属製キッチン用品回収(鍋・かま等)

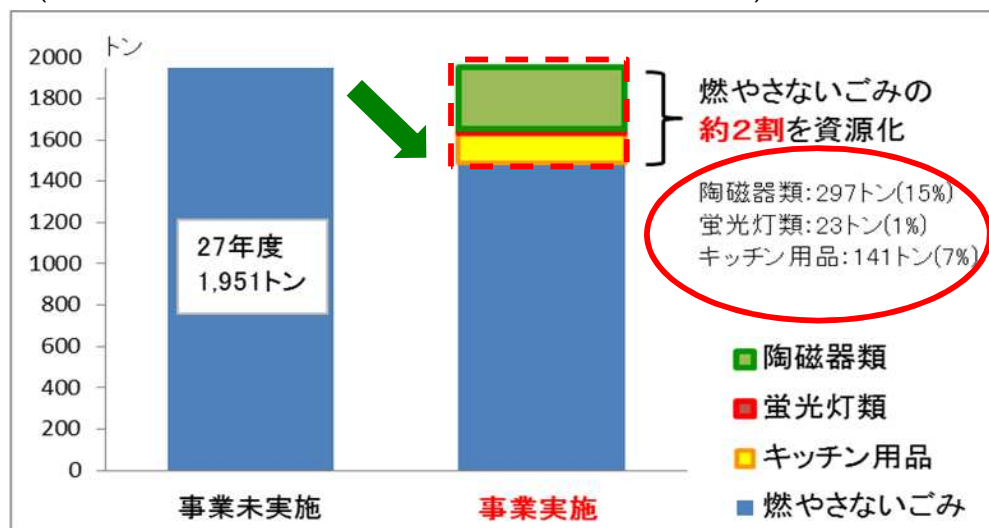
イ 古着回収事業

(3) その他 (7,559千円) (拡充)

集積箇所数、戸別収集、人件費の高騰等による資源回収業務の単価改定

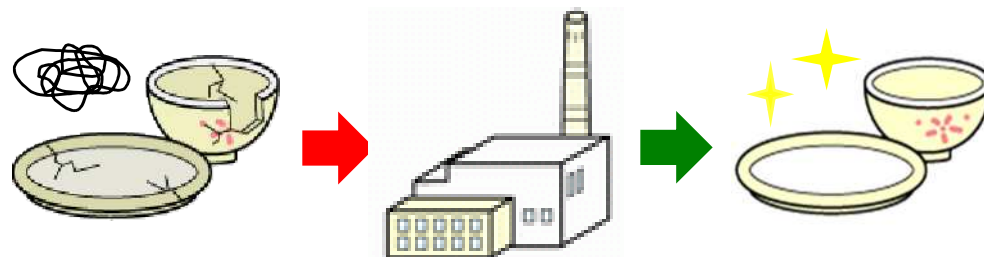
事業のイメージ

約2割のごみの削減効果が見込めます！
(27年度燃やさないごみ収集実績から想定)



【陶磁器リサイクル】

不要な**食器**を原料にして**リサイクル**！！



水素社会に向けて走り出す！

未来につながる燃料電池自動車の導入

予算額(新規)
1,688千円

問合せ
環境保全課長
笠原 正美
内線5461

1 概要

走行中のCO₂排出ゼロで、次世代エネルギー源である水素を燃料とした、「燃料電池自動車」を公用車へ1台導入する。

車両リース経費【1,488千円/年間】、納車式経費【200千円】

2 目的

燃料電池自動車の導入を契機として、次世代自動車及び水素社会の普及・啓発を行うとともに、区の環境への取組を推進する。

3 普及・啓発

- (1) 環境にやさしい燃料電池自動車をPRするため、車体をラッピング
- (2) 燃料電池自動車の納車式、水素社会のPR展(仮称)の実施
- (3) 環境及び区のイベント開催時に燃料電池自動車の展示・試乗
- (4) 区立小学校での環境学習出前講座

事業のイメージ



車両イメージ

燃料電池自動車は、燃料の水素と空気中の酸素を燃料電池に取り込んで化学反応を起こし、電気を発生させ、モーターを回して走る自動車です。



水素社会の意義

1 環境負荷の低減

水素は、利用段階で排出されるのは水だけであり、CO₂は一切排出されません。

2 エネルギー供給源の多様化

水素は、水や化石燃料をはじめ、木質バイオマスなど様々な資源から作る事ができます。

3 産業の裾野も広く 経済波及効果が高い

水素関連産業は日本の高い技術力の集約されており、産業の裾野も広く高い経済波及効果があります。

4 非常時対応の観点からも 有効

災害で電力供給に支障が出た場合でも、燃料電池自動車等が非常用電源となってエネルギーを供給することができます。

水素社会
の実現

(東京都環境局HPより)

「生きるチャンスを善意によって広げてゆく」

骨髄移植ドナー支援事業

予算額(新規)
840千円

問合せ
保健衛生担当参事
岩瀬 均

内線3501

1 目的

骨髄等の移植の推進を図ることを目的に、骨髄・末梢血幹細胞提供者(ドナー)とドナーが勤務する事業所に助成金を交付する休業補償的な制度を導入することで、骨髄移植の推進を図る。

2 事業開始日

平成29年4月1日(予定)

3 対象者

(1) 提供者(ドナー) = 申請者(原則ドナーが申請する)

区内に住所があり、骨髄提供を証明する書類を持参できること
「公益財団法人日本骨髄バンク」が実施する骨髄・末梢血幹細胞の提供が完了している旨の証明書が必要

(2) ドナーが勤務する事業所

ドナーが勤務する国内の事業所
(国・地方公共団体・独立行政法人を除く)

4 補助の内容

(1) 提供者(ドナー) [560千円] 想定申請数: 4人

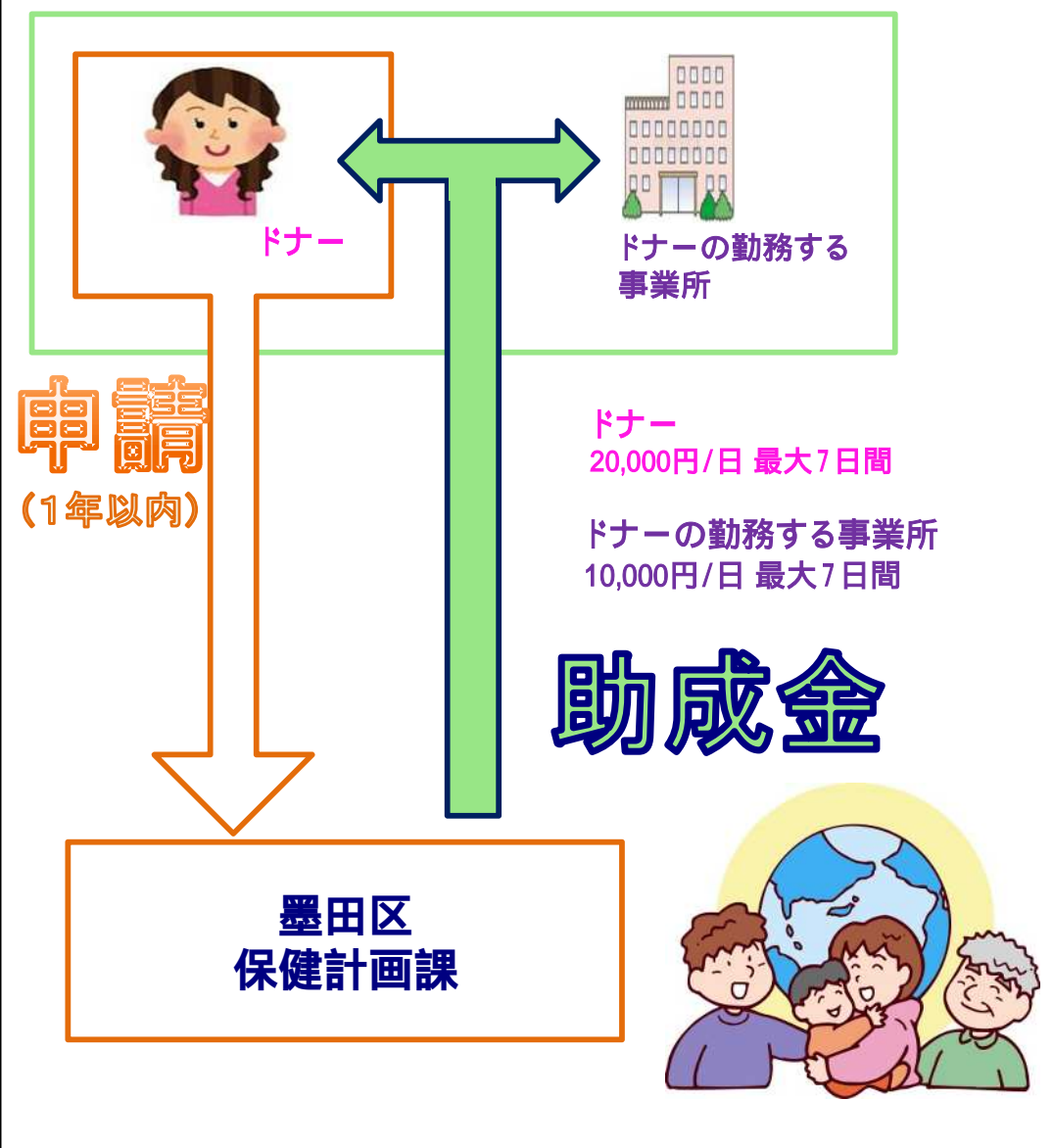
1日につき20,000円(最大7日を上限とする)

(2) ドナーが勤務する事業所 [280千円] 想定申請数: 4件

ドナー1人につき1日あたり10,000円(最大7日を上限とする)

5 申請期限

骨髄等の提供が完了した日から1年以内



残薬を減らし健康寿命を延ばします！

薬局薬剤師による残薬調整支援事業

予算額(新規)
1,021千円

問合せ
保健衛生担当参事
岩瀬 均

内線3501

1 現状

複数の病気を抱え、飲み込みに変化をきたす高齢者等は、多種類の薬を処方されても服用できず残ってしまう「残薬」が問題となっている。

2 対策

調剤薬局での薬剤師による残薬調整



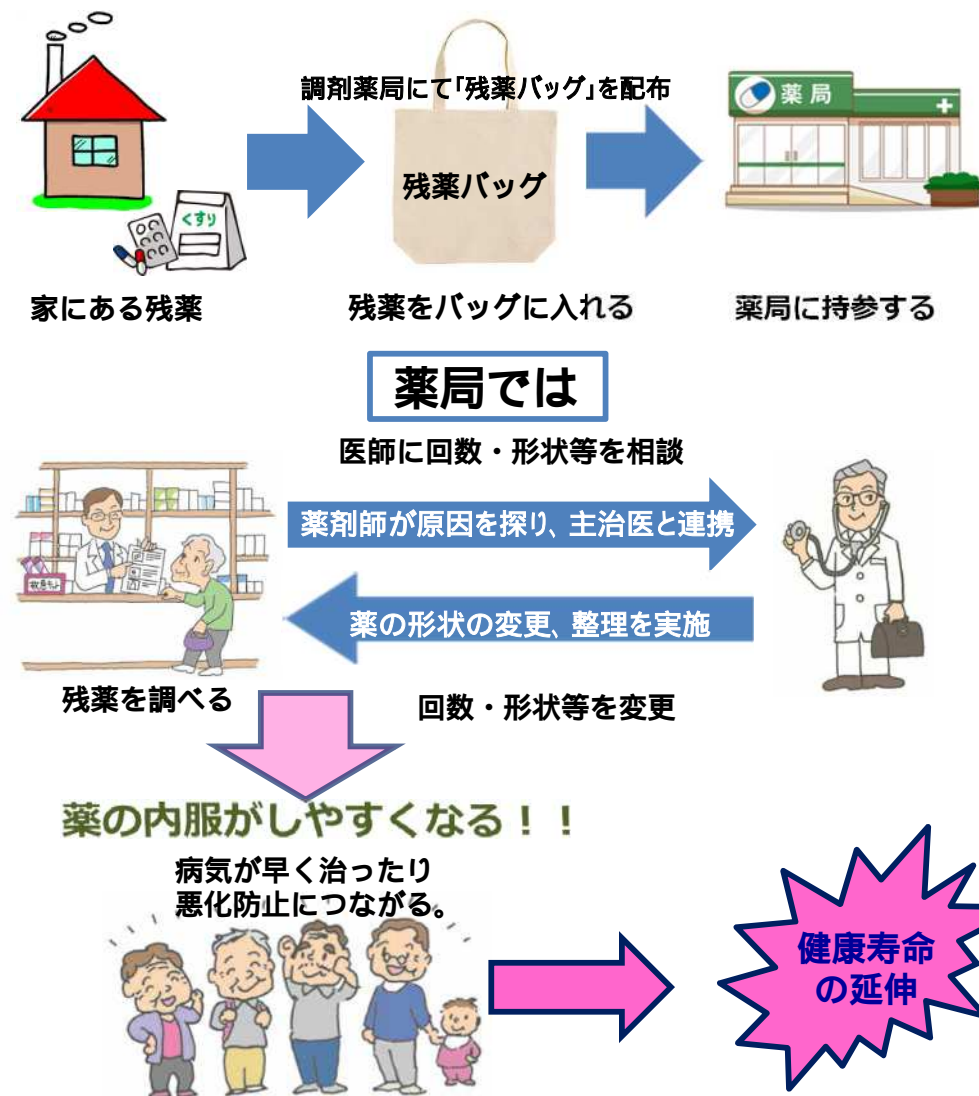
残薬バッグを作成し残薬の確認・原因を調べる。服用者の状態などを薬剤師と医師が相談。回数や形状など、適切に薬の処方をする。

服用者は、薬の管理・内服がしやすくなり、病気の悪化を防ぐことができる。

3 内容

- (1)「残薬バッグ」の作成 (500千円)
- (2)支援者等への研修 (132千円)
- (3)PRチラシの制作 (90千円)
- (4)その他 (299千円)

事業のイメージ



客引きさせません！ オールすみだであなたを守ります！

安全安心パトロールの強化

1 目的

昨年度に改正した「墨田区客引き行為等の防止に関する条例(平成28年12月1日施行)」の実効性を高め、客引き行為等ゼロをめざす。

2 現況

錦糸町駅周辺の客引きは、南口広場、ピア錦糸町通り、ダービー通り及び四ツ目通りに分散・滞留している。

3 内容

(1)パトロールによる客引き行為等の防止(21,734千円)(拡充)

ア 対策員(警察官OB)を2名増員(合計6名)

人員を増加し、よりきめ細かなパトロールを行う

イ パトロールの実施日の増加

パトロールを週5日から6日とし、客引き行為等がしにくい環境を作る

(2)街頭スピーカーの増設(837千円)(拡充)

新たに街頭スピーカーを設置(ピア錦糸町通り等)する。

現在2か所設置(南口広場・四つ目通り)

客引き行為等について警告することで、客引きが行いにくい状況になっている。

(3)その他啓発活動(403千円)

4 平成28年度に実施した主な対策

- ・居酒屋・風俗店等への協力依頼
- ・客引きしない宣言店「環境浄化推進店舗」の認定
- ・区内不動産関係団体との協定の締結

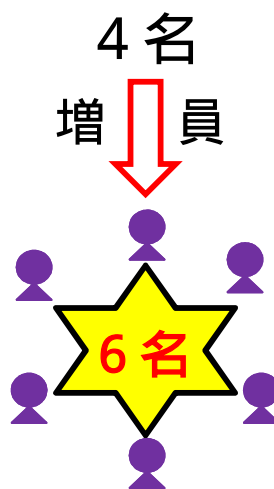
予算額(拡充)
22,974千円

問合せ
安全支援課長
江藤 一樹

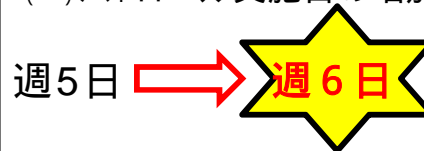
内線3561

対策の強化

(1)対策員増員による配置箇所の増加



(2)パトロール実施日の増加



(3)街頭スピーカーの増設



スピーカからは、客引き行為等の注意喚起や「ぼったくりイヤイヤ音頭(作詞・作曲:嘉門達夫)が流れている



毎月1回の合同パトロールの様子
地域、企業、関係団体、行政が一致団結!

タブレット「ワタシガ ホンヤク シマス。」

タブレット端末を利用した窓口職場における 翻訳サービス等の実施

予算額(新規)
1,980千円

問合せ
情報システム担当課長
内田 正代
内線3651

1 目的

タブレット端末を窓口を設置し、外国人や聴覚障害者が来庁した際の翻訳に使用する。

これにより、窓口等でのスムーズな対応を実現！

2 内容(1,980千円)(新規)

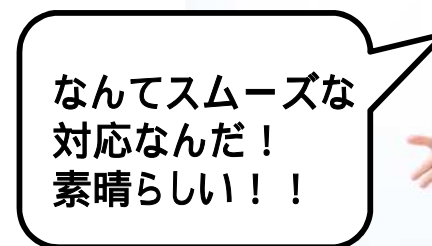
(1) 区民の利便性向上

自動翻訳を音声や文字で確認できる。
窓口でのコミュニケーションがスムーズになる。
一度で用件が済む。
知りたいことが完全に理解できる。

(2) 業務の効率化

来庁者の待ち時間を短縮
職員の負担を軽減

事業のイメージ



外国語を話せない職員も
タブレット翻訳を機に、
外国語を学んで
スキルアップ！

地域密着の「商業コーディネーター」を派遣

増やします！ 特色ある商業空間・魅力ある商店

1 目的

地域のニーズに合致した、住民からの支持が高い魅力的な商店を増やし、生活インフラを支える特色ある商業空間を生み出す。

2 内容

商業者が抱える多様な課題をよりきめ細かく捉え、経営安定化・集客力向上、魅力ある商店の集積を促進する。

(1) 「商業コーディネーター」の派遣等〔12,000千円〕(新規)

地域密着型の「商業コーディネーター」を区内2ブロックに集中的に派遣し、各種制度の効果的活用、支援機関への橋渡しなどを行う。
このほか、商業ニーズ調査等を実施する。

【活動の例】・地域への波及効果が期待できる商店の発掘・支援
・空き店舗の貸し借りのマッチング
・商業活性化事業実施のための支援

(2) 経営プランの作成支援〔720千円〕(新規)

「商業コーディネーター」と連携、協力する各分野の専門家をアドバイザーとして商店に派遣して、魅力的な商店にレベルアップするための経営プランの作成を支援する。

(3) 経営プランに基づく経営改善事業の補助〔5,000千円〕(新規)

(2)の経営プランに基づく経営改善の取組の費用の一部を補助する。(限度額50万円、補助率1/2【商店会加入店2/3】)

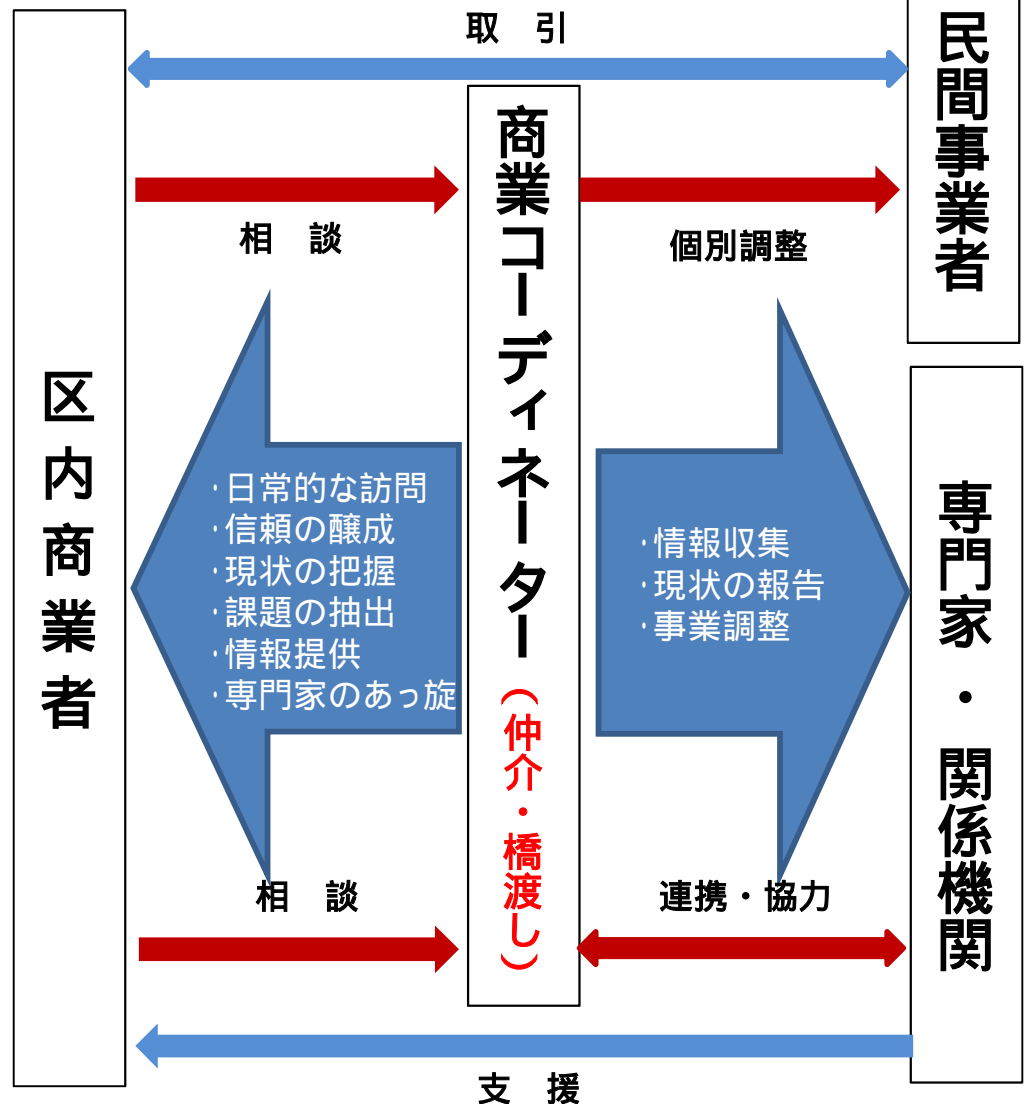
【活用の例】・店舗改修、設備導入
・新商品開発
・ホームページ作成等の宣伝強化

予算額(新規)
17,720千円

問合せ
産業経済課長
中山 賢治

内線5431

商業コーディネーターのイメージ



働き続けられる職場へ！企業の取組を推進します。

ワーク・ライフ・バランスの推進事業

予算額 (新規)
1,311千円

問合せ
人権同和・男女共同参
画課長 宮本 佳代子
内線5221

1 内容

女性も男性も共に、さまざまなフィールドでその個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現にむけ、家庭生活や地域活動等と両立しながら、働き続けたいと思える職場環境の整備を推進する。

2 展開事業等

事業対象・・・区内事業所の事業主・人事担当者等

(1) ワーク・ライフ・バランス取組啓発冊子の作成・配布
(870千円) (新規)

(2) ワーク・ライフ・バランスセミナー (441千円)

事業のイメージ

区内事業所を対象とした調査の実施(平成28年度)

ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進の取組について

ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進の取組が進まない原因

情報やノウハウが不足している！

もっと情報が
あったらいいな



取組のノウハウを学ぶ機会の提供

ワーク・ライフ・バランスや女性の活躍に関する情報の提供
取組によるメリット・助成金活用の周知、先進事例の紹介

啓発冊子の作成・配布

セミナーの開催

～ Welcome to 吾妻橋 ～

水辺のにぎわい創出

予算額(新規・拡充)
56,389千円

問合せ
観光課長
金子 明

内線5481

1 目的

観光振興プランに掲げる「水都すみだの再生」に向け、東京スカイツリーと隅田川を一望できる吾妻橋エリアにおいて、一体的に水辺の賑わい創出を推進する。

2 概要

(1) 吾妻橋観光案内所の移転及び機能強化 (36,389千円) (新規)

吾妻橋のたもとに開設している吾妻橋観光案内所を庁舎2階カフェ部分へ移転する。案内所内では多言語での観光案内や区内製品の展示即売や軽食等の販売を行う。

(2) 吾妻橋エリアの賑わい創出イベント等 [20,000千円](拡充)

5月に開業する「リバーサイドカフェ」や、昨年9月から開催している「THE GREENMARKET SUMIDA」等のイベントも含め、複合的に吾妻橋船着場の活用を図る。

3 スケジュール(予定)

(1) 吾妻橋観光案内所の移転及び機能強化

平成29年6月上旬:開所

(2) 「リバーサイドカフェ」の開業

平成29年5月:店舗開業

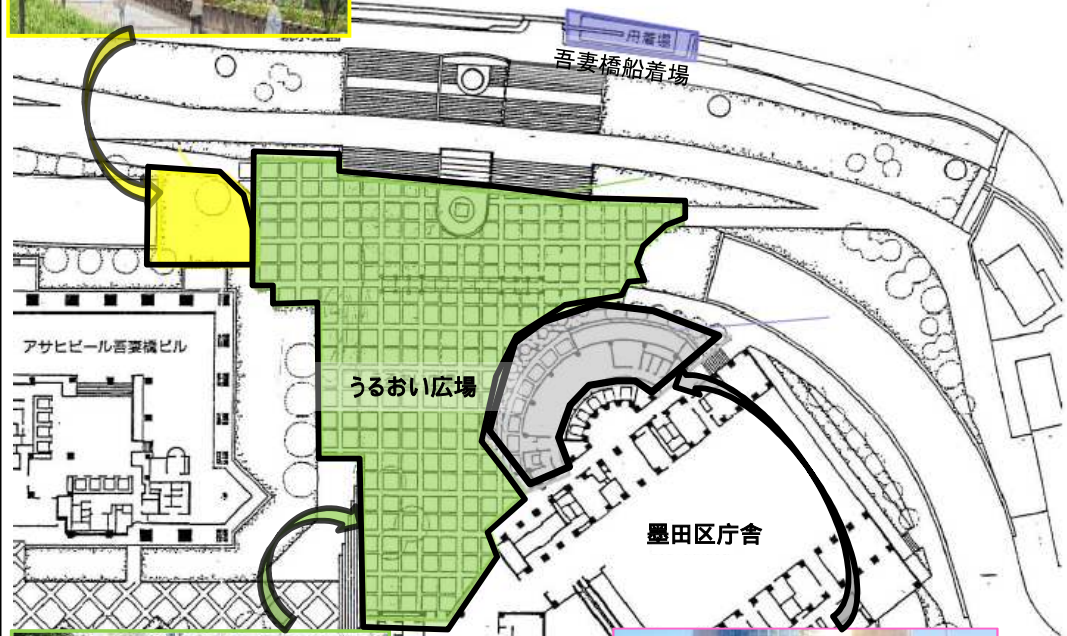
(3) 「THE GREENMARKET SUMIDA」の開催

平成29年4月・5月・6月・9月・10月・11月・12月・3月の第1土日に開催。

「リバーサイドカフェ」イメージ



～ Welcome to 吾妻橋 ～
水辺のにぎわいイメージ



「THE GREENMARKET SUMIDA」の様子



「吾妻橋観光案内所」の移転場所

～ 明治時代にタイムスリップ～

旧安田庭園再整備事業

予算額(拡充)
72,216千円

問合せ
道路公園課長
天海 晴彦

内線5051

1 目的

平成28年3月に策定した「旧安田庭園中期整備計画」に基づき、東京都指定名勝である本庭園を文化・観光資源として再生を図るための整備を行い、明治の歴史・記憶を次世代に継承する。

2 主な内容(72,216千円)(拡充)

(1)文化財庭園を保存・継承していくための施設整備

- ・歴史的資料に基づく、庭園景観再現のための植栽整備
- ・当時の庭園鑑賞回遊ルートを再現した新たな門の設置

(2)庭園の利便性を高める施設整備

- ・園路の一部を車いす、ベビーカーが通行できるよう改修
- ・バリアフリーに対応したトイレへの改修
- ・庭園鑑賞施設の整備(ベンチ等)

3 これまでの取り組み

平成28年度に、心字池の浚渫(しゅんせつ)及び植栽の整理と外周塀の補修等を行っている。

【参考】刀剣博物館について

国内でも珍しい刀剣専門の博物館。日本刀や、刀装・刀装具を展示している。

平成29年9月に現在地である代々木から移転し、同年秋オープン予定

■事業のイメージ



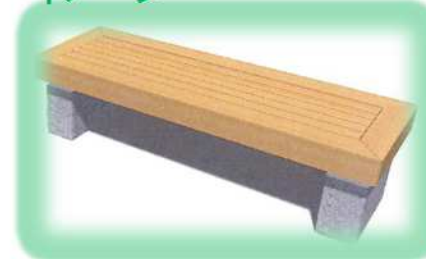
新設門設置イメージ



刀剣博物館(パース図)
(公財)日本美術刀剣保存協会 提供

園路のバリアフリー化
(一部)

庭園鑑賞施設の整備
イメージ



トイレ改修イメージ(和風)



～ オールすみだでの観光地域づくりに向けて～

(仮称)すみだDMOの推進

予算額 (新規)
15,000千円

問合せ
観光課長
金子 明

内線5481

1 目的と概要

官民一体となり地域全体で観光の取組を促進するため、「(仮称)すみだDMO」を推進！都内唯一で23区初の日本版DMO候補法人として観光庁に登録された墨田区観光協会と連携する。

2 (仮称)すみだDMOのめざす姿

地域や関連団体等と連携し、地域ぐるみで観光を推進していくことで、地域全体に観光経済波及効果をもたらす。区は「(仮称)すみだDMO」の組織体制づくり等を支援し、組織の自走を図っていく。

3 平成29年度の内容

(1) 各種調査の実施 (5,000千円) (新規)

DMO推進のための指標とし、効果的な観光施策を展開していくため、各種調査を実施する。

(例:消費額統計調査、観光客入れ込み客数調査等)
区としても必要な調査をDMOと連携して行っていく。

(2) すみだの特色を活かした高付加価値の旅行商品の開発 (10,000千円) (新規)

今までなかった“すみだ”でしか体験することのできないプレミアムツアー等を開発する。

「(仮称)すみだDMO」に参加したくなる仕組みを作り、地域や関連団体等にメリットのある仕組みづくりの支援を行う。

事業のイメージ

DMO (Destination Management Organization) とは？

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。

観光庁発表資料抜粋

DMOの役割と多様な関係者との連携イメージ

